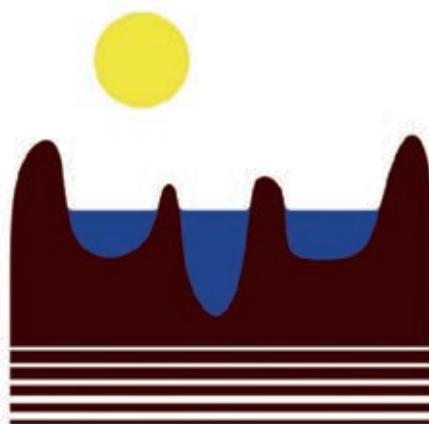


# 令和 6 年度

# 定時総会



TOWADA  
TRAVEL

日 時 令和 6 年 6 月 27 日(木)  
午後 3 時 30 分から  
場 所 十和田市地域交流センターとわふる 大中ギャラリー

一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構

## 次 第

1 開 会

2 挨 捶 (一社)十和田奥入瀬観光機構 理事長 小野田金司

3 議事録署名人選出

4 議 事

報告第1号 新入会員承認の件

議案第1号 令和5年度事業報告(案)承認の件

議案第2号 令和5年度事業決算(案)承認の件

議案第3号 令和6年度事業計画(案)承認の件

議案第4号 令和6年度事業予算(案)承認の件

議案第5号 令和6年度暫定事業計画(案)及び

暫定事業予算(案)承認の件

議案第6号 役員改選(案)の件

5 そ の 他

①退会報告について

6 閉会挨拶

7 閉 会



## 報告第1号 新入会員承認の件

会員の入会について(令和5年11月11日～令和6年5月31日加入)

	事業所名等	代表者	所在地	業種
1	株式会社シーアールティ・ワールド	陸田 秀之	埼玉県新座市野火止	食品製造・販売
2	株式会社ビーコーズ	村岡 将利	青森県十和田市西三番町	その他
3	奥入瀬屋	金子 周平	青森県十和田市大字奥瀬字柄久保	宿泊施設
4	TSUNDOKU BOOKS	長嶺 李砂	青森県十和田市稻生町	物販・宿泊施設
5	田中建設工業株式会社	田中 進	青森県十和田市元町西2丁目	その他

(敬称・役職名等略)

(一社)十和田奥入瀬観光機構 会員の構成(令和6年5月31日現在)

宿泊関係	19	うち、 地域内に事業所を有する者…165 件、 それ以外の者…28件  ※地域内とは、十和田市、三沢市、上 北郡、小坂町を指す
運輸・交通関係	9	
観光事業(施設、体験、旅行等)	23	
物産関係	45	
飲食関係	29	
産業団体	3	
その他(金融、建設、印刷・広告代理、卸小 売、商店街、燃料、各種サービス等)	65	
計	193	

## 令和5年度交付金活用状況一覧

		交付金事業名	申請事業タイトル	概要	総事業費(税抜) (円)	交付金・補助金 (税抜) (円)
1	観光庁	令和5年度 訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	インバウンドに関するデータ分析・誘客戦略の策定(2年目)	外部専門人材登用 河原本徹氏  コロナ禍後の外国人観光客(主に台湾人観光客)の受入に向けた取り組み。 ①マーケティングの仕組みづくりと台湾現地アンケート ②台湾集客の活性化に向けたCRMの推進 ③台湾向け観光戦略の策定	6,803,670	6,776,210
2	観光庁	観光再始動事業 高付加価値化支援事業	冬の十和田八幡平国立公園インバウンド向け高付加価値ツアー造成事業	冬の自然を満喫できる限定ツアーを造成。加えて県民ですら立ち入ることが少ない冬季立入困難エリアのツアーを、これまでに造成した氷瀑ツアーなどの集客実績のあるコンテンツと合わせて商品化する。インバウンド向け高付加価値ツアーを造成し冬季の観光消費を拡大する。	17,388,667	12,829,574
3	観光庁	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業	日本の古き良き田舎体験 SAVOR JAPAN認定地域、青森県重要文化財の古民家で地元飲食店連携のインバウンド向け地産食体験と広域周遊二次交通整備	本エリアにおいては以前より二次交通の課題があるが、今回同エリア主要な観光地である奥入瀬十和田エリアと新幹線及び空港を結び、そのルート上のコンテンツ整備を図ることで、二次交通の整備と観光コンテンツの充実を図り、消費額拡大及び同エリアへの誘客を目指す。コンテンツとしては、十和田エリアはSAVOR JAPANの認定を受けており、R2より計画的な活動を行っており今年度は3年目としてコンテンツの販売開始と収益化を目標として、国指定重要文化財「旧笠石家住宅」内にて地元料理人による青森の多様な「食」を提供するコンテンツを造成し、誘客を促す。	6,681,827	5,033,886
4	観光庁	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金	インバウンド受入環境整備高度化事業	外国人が立ち寄る観光案内所の環境整備・改良	557,975	253,625

## 会議等ならびに理事長及び副理事長の業務執行状況の報告（定款第27条第4項）

令和5年度

No.	開催日	会議名	場所	出席者
1	4月6日（木）	令和5年度新渡戸友好都市交流委員会 役員会	十和田市役所本館2階	代理出席（事務局長）
2	4月18日（火）	令和5年度十和田湖周辺交通渋滞対策協議会 総会	十和田市役所本館3階 庁議室	代理出席（事務局長）
3	4月19日（水）	令和5年度新渡戸友好都市交流委員会 総会	市民交流プラザ「トワーレ」	代理出席（事務局長）
4	5月18日（木）	第1回DMOマーケティング戦略連携会議		代理出席（事務局長）
5	5月22日（月）	令和5年度第1回上北地域活性化協議会	十和田合同庁舎3階B会議室	代理出席（事務局長）
6	5月26日（金）	令和5年度とわだ産品販売戦略会議	十和田市役所本館3階 庁議室	代理出席（事務局長）
7	5月30日（火）	令和5年度第1回国際観光推進連絡会議	青森県観光物産館アスパム 4階十和田	代理出席（事務局長）
8	5月31日（水）	十和田奥入瀬観光機構 理事会	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長 副理事長
9	6月1日（木）	十和田市秋まつり参加団体打合せ会	十和田商工会館1階ホール	代理出席（事務局長）
10	6月5日（月）	東北観光推進機構 第7回通常総会	ホテルメトロポリタン仙台	代理出席（事務局長）
11	6月10日（土）	令和5年度 大町桂月を語る会 総会	西コミュニティセンター	代理出席（事務局長）
12	6月19日（月）	令和5年度第2回上北地域活性化協議会	十和田合同庁舎3階B会議室	代理出席（事務局長）
13	6月20日（火）	催しの主催者から意見を聞く会	十和田消防庁舎 2階第2会議室	代理出席（事務局長）
14	6月26日（月）	令和5年度太素顕彰会定期総会	十和田商工会館2階	代理出席（事務局長）
15	6月27日（火）	十和田奥入瀬観光機構 総会	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長 副理事長
16	6月28日（水）	青森県観光国際交流機構 総会	ホテル青森	小野田理事長
17	6月29日（木）	青森県観光戦略局長 表敬	青森県庁	小野田理事長
18	7月7日（金）	奥入瀬渓流エコツーリズム実行委員会	十和田市役所本館3階 庁議室	代理出席（事務局長）
19	7月13日（木）	令和5年国道103号青撫山バイパス建設促進期成同盟会総会	サン・ロイヤルとわだ	代理出席（事務局長）
20	7月15日（土）	十和田湖湖水祭り 安全祈願祭	十和田神社	小野田理事長
21	7月18日（火）	第13回EST普及推進フォーラム	ホテルルポール麹町	小野田理事長
22	7月19日（水）	観光庁 観光産業課 表敬	観光庁	小野田理事長
23	7月20日（木）	2023年度 東北教育旅行セミナー（東京）	品川プリンスホテル クリスタル24	代理出席（事務局長）
24	7月21日（金）	十和田市秋まつり関係団体打合せ会	十和田商工会館1階大ホール	代理出席（事務局長）
25	7月25日（火）	十和田市秋まつり参加団体打合せ（夜まつり会議）	十和田商工会館1階大ホール	代理出席（事務局長）
26	7月26日（水）	十和田市秋まつり第2回参加団体打合せ（最終打合せ）	十和田商工会館1階大ホール	代理出席（事務局長）
27	7月28日（金）	令和5年度十和田地区暴力追放推進協議会理事会・総会	サン・ロイヤルとわだ	代理出席（事務局長）
28	8月17日（木）	十和田市夏まつり 花火大会	十和田市陸上競技場	代理出席（事務局長）
29	8月25日（金）	十和田奥入瀬観光機構 令和5年度 第1回全体部会	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長 理事
30	8月29日（火）	令和5年度第2回観光戦略プロジェクト推進委員会	青森県観光物産館アスパム 9階「しらかみ」	代理出席（事務局長）
31	8月30日（水）	2023年度 東北教育旅行セミナー（名古屋）	名古屋マリオットホテル	代理出席（事務局長）
32	9月4日（月）	第1回奥入瀬十和田利活用協議会	十和田市役所 本館3階 庁議室	代理出席（事務局長）
33	9月5日（火）	奥入瀬十和田利活用協議会 第1回観光部会	十和田市役所 別館5階 会議室	代理出席（事務局長）
34	9月13日（水）	奥入瀬十和田利活用協議会 第2回環境教育部会・観光部会・道路交通部会 合同部会	十和田市役所 別館5階 会議室	代理出席（事務局長）
35	9月14日（木）	十和田湖1000年会議 準備会合（合同視察・勉強会）	十和田湖畔 休屋yamaju	代理出席（事務局長）
36	9月26日（火）	令和5年度第2回奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会	十和田市役所 本館4階 大会議室	代理出席（事務局長）

37	9月26日 (火)	奥入瀬十和田利活用協議会 第1回幹事会	十和田市役所 本館4階 会議室	代理出席 (事務局長)
38	10月8日 (日)	第28回とわだ駒街道マラソン大会	十和田市陸上競技場 (退会本部テント)	代理出席 (事務局長)
39	10月19日 (木)	第1回十和田湖1000年会議	十和田ビジターセンター	代理出席 (事務局長)
40	11月2日 (木)	第80回国民スポーツ大会十和田市準備委員会 第2回総会	JA十和田おいらせ本館 3階 大会議室	代理出席 (事務局長)
41	11月2日 (木)	令和5年第1回 十和田市観光戦略会議	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長
42	11月16日 (木)	奥入瀬十和田利活用協議会 第3回観光部会	十和田市役所 本館4階 大会議室	代理出席 (事務局長)
43	11月17日 (金)	十和田奥入瀬観光機構 令和5年度 第2回全体部会	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長 理事
44	11月27日 (月)	十和田奥入瀬観光機構 全体部会 部会	市民交流プラザ「トワーレ」	小野田理事長 副理事長
45	12月4日 (月)	観光建設常任委員会所管事務調査	十和田市地域交流センター「とわふる」	小野田理事長
46	12月21日 (木)	青森ファンプラットフォーム構築運用に係るDMO意見交換会	青森県庁西棟8階大会議室	代理出席 (事務局長)
47	12月22日 (金)	奥入瀬温泉スキー場 安全祈願祭	奥入瀬温泉スキー場	代理出席 (事務局長)
48	1月4日 (木)	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり (八幡平) マスターplan会議	十和田ビジターセンター	小野田理事長
49	1月10日 (水)	第3回新紙幣発行記念イベント市民検討委員会	十和田市役所 本館4階 会議室	代理出席 (事務局長)
50	1月19日 (金)	十和田湖冬物語2024 実行員会	十和田湖観光交流センター ぶらっと	小野田理事長
51	1月23日 (火)	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり(八幡平)第3回モデル観光地意見交換会	十和田ビジターセンター	小野田理事長
52	1月26日 (金)	上北地域観光推進勉強会	十和田合同庁舎3階B会議室	代理出席 (事務局長)
53	1月29日 (月)	第3回青森ファンプラットフォーム構築運用に係るDMO意見交換会	青森県庁南棟4階A会議室	代理出席 (事務局長)
54	2月3日 (土)	十和田湖冬物語2024 オープニングセレモニー (市長、町長)	十和田湖畔 休屋 十和田荘	代理出席 (事務局長)
55	2月6日 (火)	DMO全国会議	中央合同庁舎2号館→雪の為オンライン	小野田理事長
56	2月9日 (金)	十和田八甲田部会 (環境省)	オンライン対応	代理出席 (事務局長)
57	2月14日 (水)	稻生川ウォーク2024 打合せ会	十和田商工会館1Fホール	代理出席 (事務局長)
58	2月14日 (水)	令和6年度十和田市春まつり行事関係者打合せ会	十和田商工会館1Fホール	代理出席 (事務局長)
59	2月15日 (木)	令和5年度自然公園財団十和田地区連絡協議会	十和田ビジターセンター	代理出席 (事務局長)
60	2月15日 (木)	令和6年度観光交通部会	十和田商工会館5階会議室	代理出席 (事務局長)
61	2月17日 (土)	十和田湖の四季写真コンテスト 表彰式	十和田ビジターセンター	小野田理事長
62	2月17日 (土)	市民向けガイド講習	十和田市民文化センター	小野田理事長
63	2月22日 (木)	令和5年度第3回奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会	十和田市役所本館3階 庁議室	代理出席 (事務局長)
64	2月26日 (月)	第4回青森ファンプラットフォーム構築運用に係るDMO意見交換会	青森県庁西棟8階中会議室	代理出席 (事務局長)
65	2月26日 (月)	環境緑化まつり打合せ会	十和田市役所 別館会議室1	代理出席 (事務局長)
66	2月28日 (水)	令和5年度第3回青森県観光戦略プロジェクト推進委員会	オンライン参加	代理出席 (事務局長)
67	3月5日 (火)	第2回 十和田湖1001年会議	十和田ビジターセンター	代理出席 (事務局長)
68	3月15日 (金)	十和田商工会議所 表敬	十和田商工会館	小野田理事長
69	3月15日 (金)	十和田奥入瀬観光機構 令和5年度 第3回全体部会	十和田商工会議所	小野田理事長 副理事長
70	3月22日 (金)	第5回青森ファンプラットフォーム構築運用に係るDMO意見交換会	オンライン対応	代理出席 (事務局長)
71	3月25日 (月)	～「とわだの逸品開発事業」～商品完成お披露目会	サン・ロイヤルとわだ	代理出席 (事務局長)

## 議案第1号 令和5年度事業報告（案）承認の件



### (一社)十和田奥入瀬観光機構 令和5年度事業報告書

#### 事業報告



2023年度十和田奥入瀬観光機構は、十和田市の観光戦略のビジョンである「自然とアートを核に稼いで潤う持続的な観光地域づくり」に向け、そのミッションである

- ・「観光による平準化」（自然とアートを核とした観光、滞在時間や消費単価の増加、若者の雇用機会創出）
- ・「サステイナブルな観光地域づくり」（自然環境の保全、関係人口による地域づくり、SDGsの浸透）
- ・「上質な観光サービス」（観光人材のスキル向上、高付加価値サービスの提供）

の実現に向け、様々な事業へ取組を図った。

「観光による平準化」においては、ナイトタイムエコノミーを意識したツアーや、閑散期である冬季に特化した商品の開発、磨き上げに注力し、「サステイナブルな観光地域づくり」では、持続可能な観光推進モデル事業の取組として、地域アセスメントの実施やエコロードフェスタ実施への協力、「上質な観光サービス」では、ネイチャーガイドの養成や、市民向け講座としてポストコロナ時代の観光情報の提供やセミナーを開催、観光庁の「観光再始動事業」においては、冬の閑散期に高級ワゴン車利用の高付加価値商品の開発にも取り組んだ。

加えて、十和田市街地で行われた「春・夏・秋まつり」や「十和田湖湖水まつり」「十和田湖冬物語」などイベント共催や事務局として活動を取り組みました。マーケティング部門としてはアンケート調査、データを活用した商品造成、情報発信を行い、特にインバウンド獲得に向けては、9月の「アドベンチャーワールドサミット」へ参加し、12月台湾での商談会へ出展するなど積極的に展開した。

。

## 事業報告【1】KPI実績報告①



- 観光に関する各種データの継続的な収集・分析、明確なコンセプトに基づいた戦略（プランディング）の策定、KPI（成果指標）を設定。当法人では、①旅行消費額 ②延べ宿泊者数 ③来訪者満足度 ④リピーター率 をKPIに設定し、統計調査を行った。

2023年度の目標に対する実績は、旅行消費額105%達成、延べ宿泊者数101%達成、来訪者満足度114%達成となっている。

KPI全体実績						
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度目標	2023年度実績
旅行消費額 (1人当たり)	¥26,623	¥23,050	¥23,459	¥22,335	¥25,000	¥26,413
延べ 宿泊者数	331,881人泊	216,599人泊	195,387人泊	271,670人泊	300,000人泊	304,782人泊
うち外国人 66,930人泊	うち外国人 10,919人泊	うち外国人 266人泊	うち外国人 4,910人泊	うち外国人 46,000人泊	うち外国人 53,048人泊	
来訪者 満足度	83.9%	90.4%	90.6%	94.2%	83%	95.2%
インバウンド 85.7%	インバウンド未 測定	インバウンド 未測定	インバウンド 未測定	インバウンド 未測定	インバウンド 78%	インバウンド 未測定
リピーター率	45.0%	56.2%	75.5%	64.1%	52%	49.7%

## 事業報告【1】KPI実績報告②

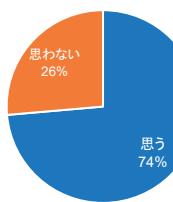


- 2022年度から、宿泊日数、紹介意向、再来訪意向度も調査項目に入れて統計をとった。来訪者満足度と同時に、連泊率、紹介意向度、再来訪意向度の両軸を確認してきた。

KPI実績(旅行消費額の詳細)

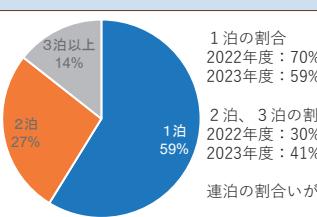
一人当たりの旅行消費額内訳	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年比
宿泊費	13,986	13,169	14,905	15,768	18,284	116.0%
飲食・買い物・体験	12,637	9,881	8,554	6,567	8,130	123.8%
合計	26,623	23,050	23,459	22,335	26,413	118.3%

【再来訪意向】  
十和田市を再来訪したいか



【再来訪したい】  
2022年度：74%  
2023年度：74%  
再来訪意向度は、前年と同じ割合だった。

宿泊日数



1泊の割合  
2022年度：70%  
2023年度：59%  
  
2泊、3泊の割合  
2022年度：30%  
2023年度：41%  
  
連泊の割合が増えている。

【紹介意向】  
親しい友人に本地域を紹介したいか



【友人に紹介したい】  
2022年度：74%  
2023年度：88%  
前年度より高まった。

## 事業報告\_委託業務



第37回十和田湖の四季写真コンテスト 環境大臣賞受賞作品

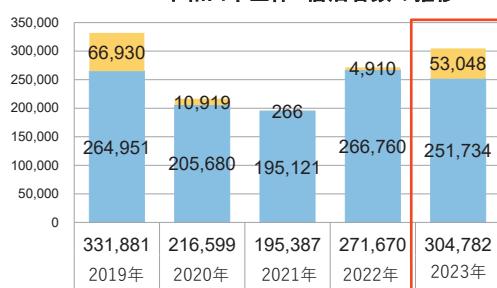
### 事業報告\_【2】委託業務\_1：戦略的観光地域づくり推進事業

#### ①-i. マーケティング業務\_来訪者ヒアリング調査（観光統計・宿泊調査）

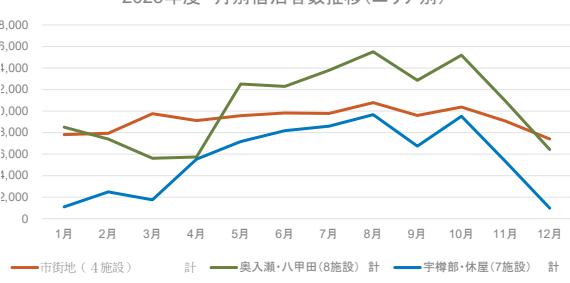
- 十和田市内の協力施設から、月ごとに観光客入込数や宿泊者数のデータ提供を受け、エリア別（十和田湖・奥入瀬・市街地）ごとに集計を行った。
- 延べ宿泊客数合計は、2019年対比で約9割回復。外国人旅行者は、紅葉シーズンから増え始め、2019年対比で約8割まで回復。年間の宿泊者53,048人のうち、95%が奥入瀬渓流・十和田湖エリアに宿泊した。
- 十和田市街地は、ビジネス利用の影響もあり、年間を通して安定した推移となっている。

#### 宿泊者数調査の結果

##### 十和田市全体 宿泊者数の推移



##### 2023年度 月別宿泊者数推移(エリア別)



## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ①-i. マーケティング業務 来訪者ヒアリング調査（QRコードアンケート）



- 2023年4月から、観光客向けにQRコードアンケートを実施。市内の宿泊施設、道の駅、観光案内所などにチラシと案内カードを設置。集計結果は、当法人全体部会等で参加施設に共有した。

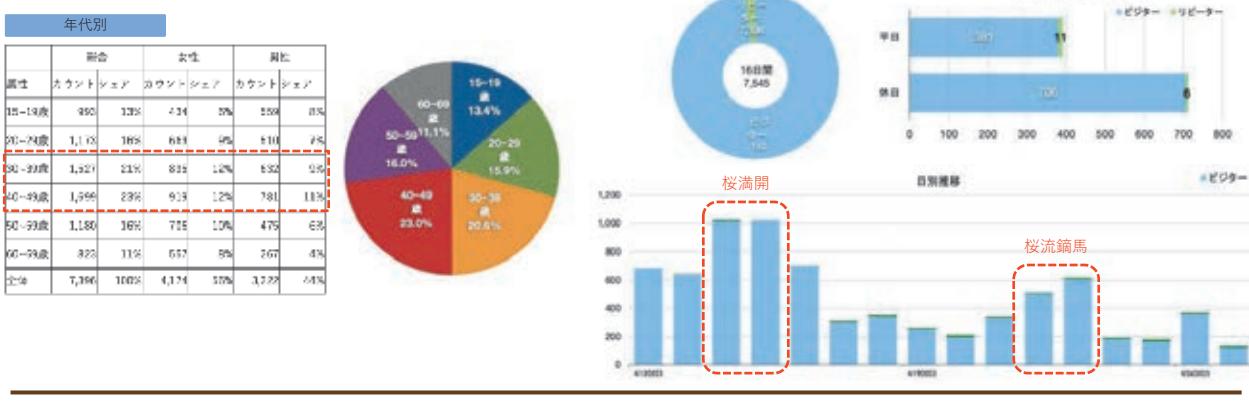


## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ①-ii. マーケティング業務 データ測定分析（Beacon測定）



- 2023年度「十和田市春まつり」さくら観光案内所にビーコンを設置し、来場者の属性調査を行った。
  - 集計期間：2023年4月12日～4月27日
  - 集計時間：9:00～15:00
- 属性別では、男性44%、女性56%、40代のシェア率が23%と一番多く、続いて30代が21%という数値であった。
- 日別の来場者推移では、週末は平日の倍の来場者があった。桜が満開の週末が一番多かった。



## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ① - iii. マーケティング業務 デジタルマーケティング・リサーチ①



東北観光DMP 季節ごとの国内訪問者数（動態分析）

新緑から紅葉シーズンまで、奥入瀬渓流、十和田湖、蔦温泉、八甲田のあたりまで、十和田市全体に観光客が訪れていた。JRバスなどの運休に伴い、12月以降十和田湖・奥入瀬渓流エリアの訪問者数が減少していた。



海外／国別動態訪問分析（2023年1月～9月）

都道府県	スポット名	実訪問数	構成比
青森県	総合計	21,918	100.0%
青森県	十和田市法華堂（奥入瀬川の上流）	10,219	46.6%
青森県	十和田市 蔦温泉（十和田湖周辺）	8,574	39.1%
青森県	十和田現代美術館・中央公園	2,721	12.4%
青森県	十和田湖（東湖周辺）	404	1.8%

国別訪問数				
国名	実訪問数	%	構成比	累積比
国内外	21,918	100.0%	100.0%	
台湾	17,152	78.3%	78.3%	
中華人民共和国	1,875	8.6%	86.8%	
香港	1,415	6.5%	93.3%	
その他	504	2.8%	96.0%	
大韓民国	596	2.7%	98.7%	
アメリカ合衆国	128	0.6%	99.3%	

外国人旅行者が一番訪れていた場所は、奥入瀬渓流（石ヶ戸休憩所）、続いて十和田湖畔となっていた。

国別で見ると、台湾が78%と圧倒的に多く、中国が8.6%、香港が6.5%

## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ① - iii. マーケティング業務 デジタルマーケティング・リサーチ②

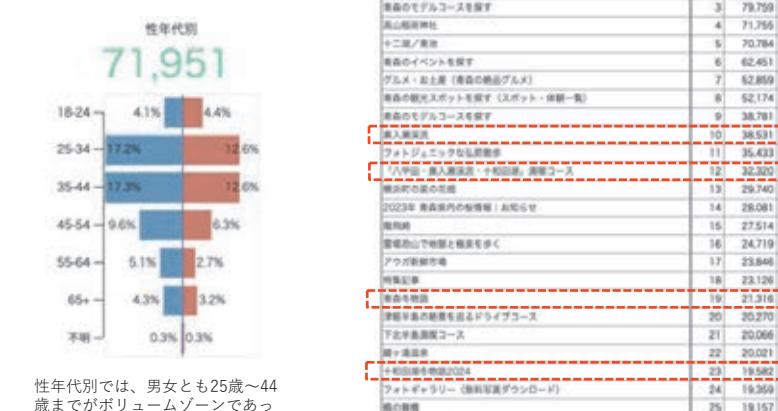


東北観光DMP WEB分析

青森県観光情報サイト「Amazing AOMORI」にて、十和田市に関わるページのPV数が上位に入っていた。また、国内では東京からの閲覧数が約半数を占めていた。  
※集計期間：2023年4月～2024年2月

都道府県	PV数	ユーザ数	セッション数	平均時間
都道府県	2,602,537	2,088,932	1,246,794	35.5
東京都	1,257,885	1,006,792	582,735	36.4
青森県	317,535	240,430	153,554	36.0
北海道	224,287	187,145	106,304	30.8
大分県	136,860	107,992	62,132	36.3
神奈川県	112,333	86,112	52,931	43.9
埼玉県	77,431	61,569	37,990	40.1
千葉県	72,895	61,725	37,506	38.7
愛知県	50,425	38,549	23,770	38.6
兵庫県	41,275	33,370	19,745	35.2
宮城県	26,771	20,042	13,412	34.4
岩手県	25,298	21,128	13,188	30.9
茨城県	24,016	20,674	13,265	32.4

PV数を都道府県別で見ると、東京都が全体の48%を占めていた。



性年代別では、男女とも25歳～44歳までがボリュームゾーンであった。

ページ名	順位	PV数
総合計	1,000	2,596,202
【公式】青森県観光情報サイト Amazing AOMORI	1	917,615
色山雲海/泡山看雲寺	2	86,764
青森のモデルコースを探す	3	79,759
高山和泊神社	4	71,795
十二湖/青池	5	70,784
青森のイベントを探す	6	62,451
グリーン・走上屋（青森の納品グリーン）	7	52,859
青森の観光スポットを探す（スポット・体験一覧）	8	52,174
青森のモデルコースを探す	9	38,781
奥入瀬渓流	10	38,531
フォトジョングッキな私那覇亭	11	35,433
青森のモデルコースを探す	12	29,740
2023年 青森県内の桜情報！お知らせ	13	28,081
泡沢町	14	27,514
青森熱山で地獄と極楽を歩く	15	24,719
アクア那覇市場	16	23,846
地獄記事	17	23,126
地獄を生き残る	18	23,116
青森半島の絶景を巡るドライブコース	19	20,270
下北半島周遊コース	20	20,066
泡沢温泉	21	20,031
十和田湖周遊コース	22	19,582
フォトジョーラリー（無料写真ダッシュボード）	23	19,359
泡の野原	24	19,197

## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ① - iii. マーケティング業務 デジタルマーケティング・リサーチ③



東北観光DMP 海外動態分析（国別総合） ※集計期間：2023年4月～2023年9月

<観光客数> 10:00～17:59の間に2時間以上滞在した人数

<宿泊客数> 2:00～4:59の間に2時間以上滞在した人数

<実訪問数構成比> 総合計を100%としたカテゴリー別・実訪問数の構成比 ※Agoop提供データ

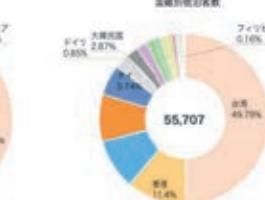
市区町村別集計表

都道府県	市区町村	2023年04月		2023年05月		2023年06月		2023年07月		2023年08月		2023年09月		総合計	総合計
		観光客数	宿泊客数	観光客数	宿泊客数	観光客数	宿泊客数	観光客数	宿泊客数	観光客数	宿泊客数	観光客数	宿泊客数		
総合計		39,149	15,156	12,700	6,547	13,981	6,799	17,045	8,623	21,730	10,655	15,549	7,927	120,154	55,707
合計		39,149	15,156	12,700	6,547	13,981	6,799	17,045	8,623	21,730	10,655	15,549	7,927	120,154	55,707
青森県	八戸市	2,485	1,119	1,363	648	1,549	442	2,310	1,076	2,885	1,897	1,910	704	12,502	5,886
	十和田市	5,671	2,714	3,200	1,286	4,862	2,598	5,091	2,409	5,663	2,638	5,435	2,991	29,922	14,636
	弘前市	16,968	2,404	2,663	910	2,204	345	2,945	968	3,256	980	2,631	666	30,867	5,873
	青森市	14,025	8,919	5,474	4,103	5,366	3,414	6,699	4,170	9,926	5,140	5,573	3,566	47,063	29,312

- ・2023年、青森県に来訪された外国人旅行者の月別データでは、4月の弘前さくらまつりの時期が多くなっていた。

十和田市は、4月の桜開花時期から、新緑、夏休みの時期にも増えており、県内の他の自治体に比べると、シーズンを通じて外国人旅行者が訪れていた。

- ・国別では、台湾からの旅行社が約半数を占めている。



## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ① - iii. マーケティング業務 デジタルマーケティング・リサーチ④



#### SNSの投稿効果推移、属性調査】

■ 十和田市を旅行先の候補として検討していただくため、国内外のゲストに対してSNSを通じた情報発信を行った。フィード、ストーリー、リールを使い分け、ハイライトも活用することで、ニーズに合った得たい情報発信を行った。

■ 2023年12月9日（土）～12月10日（日）に台湾で行われたイベント「日本東北遊楽日2023 新・魅力再発見！」に出演。現地にてインスタフォロワー獲得のためのキャンペーンを行った。

◆ Instagram投稿（リーチ数順）



十和田奥入瀬観光機構 Instagram実績

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
フォロワー数	4,535人	5,153人	6,404人
若年層比率(25歳未満)	6.4%	6.5%	5.4%

◆ Instagram 年齢層

◆ Facebook 年齢層



年齢と性別



◆ Instagramのボリュームゾーンは35歳～44歳、Facebookはより年長の45歳～54歳層が多かった。

◆ 自然の魅力を伝える投稿に対してリーチ数が伸びる傾向があった。

## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業 ① - iii. マーケティング業務\_デジタルマーケティング・リサーチ⑤



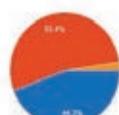
### 【十和田市観光に関する市民意識調査】

目的：十和田市の観光に対して、十和田市民がどのような意識を持たれているかを把握する。

調査形式：QRコードを読み取り、アンケートに答えていただくこと。（N数：296）

実施期間：2023年12月25日～2024年3月17日

Q1：あなたの性別を教えてください。  
296件の回答

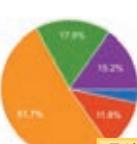


Q9：今後、十和田市に訪れる観光客が増えてほしいと思いますか？  
296件の回答



観光客が増えて欲しいと思う：86.2%

Q11：将来、子どもを観光産業で働かせてみたいと思いますか？  
296件の回答

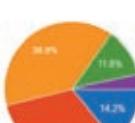


子どもを観光産業で働かせたいか：15.2%

Q2：あなたの年齢を教えてください。  
296件の回答

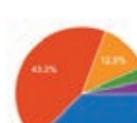


Q10：あなたは十和田市の観光産業に関わりたいと思いますか？  
296件の回答



観光産業に関わりたい：46%

Q12：十和田市にとって観光産業は重要で必要な産業だと思いますか？  
296件の回答



観光産業は必要だと思う：80.7%

## 事業報告【2】委託業務1. 戦略的観光地域づくり推進事業 ②\_i. エージェントセールス・商談会・PRイベント①



インバウンドの回復とともに、海外旅行会社と商談する機会が増加した。いずれも旅行会社の仕入れ担当者、ツアープロデューサーと接し、十和田奥入瀬エリアへのイメージや要望点をヒアリングするとともに、体験コンテンツや食事、宿泊施設等の情報やシーズ等の魅力を共有した。

団体旅行を扱う旅行会社からの主な懸念材料として、①食事場所が少ないと②宿泊施設の数とバリエーションが少ないと③体験コンテンツのキャパシティに限りがあることの3点があげられる。自然の魅力やコンテンツ内容に関しては一定の評価を貰えながらも、このような要因で市内への宿泊機会や立ち寄りの機会を損失していると言える。

一方、個人旅行を主に扱う法人（OTAや専門型の旅行会社に限らず、WEBメディアや総合サービス事業者なども見受けられた）は、各社が抱えている顧客層がバラバラであるが、いずれにせよ地域の文化体験や、人との交流、グルメなどへの注目度が高いとのこと。

大手旅行会社はもちろんのこと、昨今異業種も「地方創生部」や「地域連携部」等を立ち上げ、DMOとの連携を事業としている会社が増えている傾向にある。

各事業者の得意不得手をとらえながら、十和田DMOとしての「出来ること」と「欲しいこと」を明確化し、引き続き販路の開拓や魅力の創出に努めていく。



## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ② i. エージェントセールス・商談会・PRイベント②



日程	用務	場所	参加及び訪問旅行会社・業務内容
6月5日～7日	旅行会社セールス	仙台・東京	JR読売旅行仙台支店、JTBガイアック、JTBエスコート商品事業部
6月11日～14日	旅行会社セールス	大阪・神戸	阪急交通社教育旅行支店、神姫観光、JTBエスコート商品事業部、読売旅行、阪急交通社メディア営業一部
9月8日	北東北三県大阪事務所主催 大阪旅行会社商談会	八戸	仕入・造成担当者 H.I.S.、読売旅行、クラブツーリズム、阪急交通社、日本旅行
9月11日	北東北三県ソウル事務所主催 韓国旅行会社商談会	オンライン	ハナツアー、ロッテ観光
9月23日～24日	10市大祭典十和田市ブース補助	平川市	観光案内ブースの設置、パンフレットやノベルティの配布
10月31日	青森県誘客交流課主催 県内DMO意見交換会	オンライン	クランビオニー津軽、VISITはちのへ、下北TABIあしすと
11月2日	青森県主催 観光セミナー及び商談会	東京	ANA X株式会社、株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベル、ワールド航空サービス、株式会社農協観光、楽天グループ株式会社、T-LIFEホールディングス株式会社、名鉄観光サービス株式会社、株式会社ジャルパック等
11月22日	JR東日本びゅうツーリズム&セールス主催 香港旅行会社 商談会	オンライン	EGL Tours、Tonichi Travel、Travel Expert
12月8日～10日	東北観光推進機構主催 東北遊楽日（ブース出展） 台湾旅行会社 商談会	台湾	P.31 参照
12月16日～17日	株式会社インブリージョン主催 関係人口づくりイベント	大阪	阿倍野区文の里商店街の一画で、十和田物産の販売と観光PRを実施
1月18日	東北観光推進機構主催 東北のプレミアムコンテンツ 商談会	仙台	株式会社和楽旅行社、楽天トラベル 観光体験、株式会社たびのレシピ、トリップアドバイザー、翔乳交通株式会社等
2月14日～15日	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部主催 宿フェス2023	東京	ブース出展補助、BtoCでのPR活動

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ② i. エージェントセールス・商談会・PRイベント③



- 北海道道府・JNTOが主催した体験型の観光の国際商談会「アドベンチャートラベルワールドサミット」に参加し、およそ60の国と地域からの旅行会社やメディア関係者に十和田で実施されているアウトドア旅行商品の紹介した。
- ヨーロッパや北米、オーストラリアを中心とした富裕層に人気が高まっている「アドベンチャートラベル」の国際商談会がアジアで対面で開催されるのは今回が初めてで、およそ60の国と地域から旅行会社やメディア関係者などおよそ800人が参加し、PR活動により販路拡大することができた。

用務	日程	目的と成果
北海道道府・JNTO主催 北海道ATWS 2023	9月10日 北海道札幌	十和田乗馬俱楽部「流鏑馬コース」、十和田湖ガイドハウス「十和田湖カヌーツアー」、十和田溪流釣りツアーの三つのコンテンツを商談会に参加した世界各地の旅行会社にPRした。 十和田市全体の観光資源をメディア関係者にPRし、今後の販路を拡大することができた。





メディア報道リンク : <https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230911/7000060790.html> (北海道 NEWS WEB)

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ② ii. 教育旅行①



#### ■モニターツアーの実施

各旅行会社の教育旅行担当者を招聘し、十和田市を中心とした県内周遊モニターツアーを実施。市内のコンテンツを体験してもらい、誘致促進を図った。

①日程 2023年9月19日～21日

②参加者

各旅行会社の教育旅行担当者 計4名

- ・日本旅行北海道 小樽支店
- ・日本旅行東北 盛岡支店
- ・JTB 北海道事業部
- ・岩手県交通株式会社

#### ③行程

1日目	新青森駅または青森空港 == 十和田バラ焼き昼食（たかさご屋） == 奥入瀬モスボール工房 == 十和田荘 泊
2日目	奥入瀬渓流散策 == とわだびあ（昼食・買い物） == 南部製織体験 == ホテルルートイン十和田 泊
3日目	酸ヶ湯温泉 == ねぶたの家ワラッセ == 新青森駅または青森空港

#### ④アンケート結果

・コケ玉づくり、南部製織体験、奥入瀬散策はコンテンツ力があるとして高い評価を受けることがで

きたが、受け入れキャパが限られるため、大型団体受入体制について懸念の声があがった。

・市街地に点在するアート作品を活かして、自主研修用散策マップやフォトロゲイニングの造成の提案があった。

・地元の人とのふれあいを増やし、南部弁または津軽弁講座があると良いという声も。



#### ⑤今後へ向けて

各観光施設には受入上限があるため、グループ分けした際に効率よく行程を遂行できるような提案をする。一方で、市内の小中学生が地元をより楽しく学べるようなコンテンツ整備にも注力する。

## 事業報告【2】委託業務 1. 戦略的観光地域づくり推進事業

### ② ii. 教育旅行②



#### ■商談会への参加

東北推進機構が主催する商談会へ参加し、様々な旅行会社との商談の機会を得ることができた。昨今の業界トレンドや各社の動向など相互に情報を交換することが出来た。

日程	場所	参加旅行会社
7月5日	札幌	6社 39名 JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・東武トップツアーズ・名鉄旅行・T-LIFE
7月20日	東京	6社 38名 JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・東武トップツアーズ・名鉄観光サービス・HIS
8月23日	大阪	6社 24名 JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・東武トップツアーズ・名鉄観光サービス・阪急交通社
8月30日	名古屋	5社 16名 JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・東武トップツアーズ・名鉄観光サービス

#### ■受け入れ態勢の整備及びランドオペレーター業務

受入に係る行程作成、提案、一部手配代行を担いながら、事前学習ZOOM授業も行った。



①札幌市立平岡緑中学校（JTB）一行125名

日程：5月15日～17日

利用：奥入瀬渓流散策、十和田バラ焼きゼミナールの昼食

②大阪府立港南造形高校（阪急交通社）一行213名

日程：10月10日～13日 函館・青森修学旅行

利用：十和田市現代美術館、奥入瀬渓流散策、十和田湖遊覧船、昼食弁当

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ② iii. 具体的な販売ルートの検討



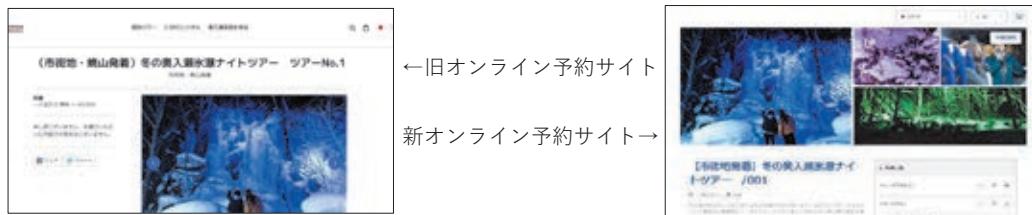
2022年度からの課題

- 販売方法の一つとしてECサイトであるshopifyを主に活用していた。「観光客にとって利便性の高い販売」を、①直前まで受付可能②24時間受付可能③即時決済④多言語対応と定義すると、現行のshopifyでは概ね賄えていると言える。しかししながら、受付後の事業者とのオペレーションがアナログであり、改善の余地が窺えた。
- 販売商品と販売ターゲットにより各OTAを活用していたが、各販売ツールの情報統合が課題となっていた。各販売サイトからの予約者はエクセルで管理しているため、ミスやトラブルの発生源となっている。

以上の課題を踏まえ、観光客、関係事業者、主催者の利便向上または確実性の確保のため、新しい販売管理システムの導入を進めDX化を図る。同時に、各コンテンツに合った販路を確立していく。

2023年度に講じた策

- 旅行商品の予約販売のため「JTB-BOKUN」を導入した。各OTAを跨ぐ在庫管理が可能となり、また予約者への対応が一部自動化されたため人的労力も削減された。言語も數十カ国のあるため、インバウンド受入にも便利。
- 「JTB-BOKUN」の取り扱いについては、2024年度中に旧販売システム内の商品の一部の移行作業を進める。



## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ③ i. 宣伝、情報発信業務 WEBサイト運営



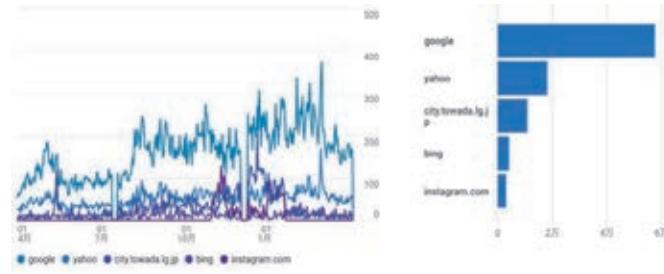
当機構の公式サイト『TOWADA TRAVEL』の保守・管理を、株式会社Queen & Co. に依頼して運営。オンラインストアのシステムを2023年から「JTB BOKUN」に暫時以降。現在のShopifyからリンクを貼って運用した。

【年間PV数等の推移 ※対象期間：2023/4/1～2024/3/31】

年間PV数：322,808 (前年：590,469) ユーザー数：146,723 (前年：93,398) セッション数：199,206 (前年：128,322)



国別では、台湾、香港からのアクセスが増えた。その他、アメリカ、ヨーロッパからのアクセスもあった。



HPへの流入は、Google検索からが一番多かった。氷瀑ツアーでは、冬季にGoogle広告を出していたため、流入が多かったが、その他の季節でも自然検索で流入していた。氷瀑の他、紅葉などの季節コンテンツはInstagramからの流入も多かった。

## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ③ - ii. 宣伝、情報発信業務 観光パンフレット等の制作



- 旅マエ・旅ナカ情報として活用されるパンフレット類を作成し、県内外の観光施設・旅行会社や個人の観光客に配布をした。
- パンフレット類の増刷にあたって、新しく増えた観光スポットやコンテンツの追加、古い写真素材や情報の変更を中心に、「とわだ旅」「とわだ旅まっふ」「奥入瀬風渓マップ」の改訂を行った。
- インバウンド回復に向けて、「とわだ旅」英語版、韓国語版の改訂を4年ぶりに行った。
- デジタル版パンフレットの活用は、青森空港『PONTANA』と日本旅行業協会（JATA）会員専用WEBページにおける継続掲載のほか、十和田湖観光交流センター「ぶらっと」のデジタルサイネージへも展開した。

#### 2023年度実績

「とわだ旅」日本語版	改訂1回(前年度4回)、40,000部増刷(前年度35,000部)、40,939部配布(前年度31,464部)、うち発送依頼421件(前年度422件)
「とわだ旅」英語版	改訂1回(前年度0回)、7,500部増刷(前年度0部)、2,980部配布(前年度2,356部)、うち発送依頼25件(前年度22件)
「とわだ旅」韓国語版	改訂1回(前年度0回)、2,500部増刷(前年度0部)、965部配布(前年度85部)、うち発送依頼15件(前年度3件)
「とわだ旅まっふ」	改訂1回(前年度2回)、5,000部増刷(前年度12,000部)、8,781部配布(前年度5,149部)、うち発送依頼100件(前年度117件)
「奥入瀬風渓マップ」	改訂1回(前年度1回)、40,000部増刷(前年度30,000部)、34,815部配布(前年度10,296部)、うち発送依頼235件(前年度215件)

#### 完成したパンフレット類及びその活用シーン

更新された外国語パンフレットは内閣府海外広報誌にも紹介された

青森空港での配架及びデジタル展示

JATA会員専用WEBページでの活用

## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ③ - iii. 宣伝、情報発信業務 オンライン「とわだ旅まっふ」の制作



株式会社Strolyのプラットフォームを利用し、これまで紙で印刷していた「とわだ旅まっふ」をデジタル化した。スマートフォンでQRコードを読み取り、GPS機能を使いながら街なかの観光スポットを巡ることができるようになった。MAP上のピンをクリックすると、各所の情報を見ることができ、HPやSNSがある店舗は、リンクで公式ページまでアクセスすることが可能。

MAP全体（スポット数：150箇所）

スポット情報の表示ウインドウ

**事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業**  
**③-iii. 宣伝、情報発信業務 オンラインマップ「とわだ酒場放浪」の制作**



- 株式会社Strolyのオンラインマップのプラットフォームを活用したイラスト地図「とわだ酒場放浪」を作成した。
- 酒場をメインとする、80ヶ所以上のナイトスポットを掲載している当マップはオンライン閲覧専用で、位置情報と連動したことが特徴となり、グルメ探訪に便利。DX化が進んでいる今の時代に合うコンテンツが完成した。
- 2023年7月8日に一般公開した時点、マップには82店舗の情報を掲載していた。今後は随時更新、追加登録する予定。

◆名称  
とわだ酒場放浪

◆閲覧URL  
<https://stroly.com/viewer/1683687890>

◆キャッチコピー  
呑めや 喰えや 楽しい酒場

◆ジャンル  
グルメマップ

◆掲載店舗数  
80軒以上



PC表示画面



スマートフォン表示画面

**事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業**  
**③-iv. 宣伝、情報発信事業 WEB・SNS広告**



- PRタイムズ（国内上場企業の51%超が利用・月間6,200万PVを誇るプレスリリース・ニュースリリース配信サービス）を活用し、配信内容により、マスメディア・WEBメディアを選定し、当機構及び当機構事業に関わった地元事業者の情報の配信を行った。
- メディア（記者）及び旅行者に閲覧してもらうため、「JAPAN 47 GO」ほか7種の観光情報データベースに情報の登録を行った。また、「イベントバンク」ほか4社の配信サービスを通し、マスメディア、観光業者が運営するWEBメディア、ニュースアプリに配信枠を広げた。

2023年度実績

PRタイムズ	配信53件(前年度26件) ページビュー133,132回(前年度85,034回)、訪問者数104,506名(前年度84,206名)、転載数1,712件(前年度804件)
その他の観光情報システム	観光情報データベースへの新規または変更登録29件(前年度19件)、配信サービス利用54回(前年度24回)
Google リスティング広告	奥入瀬渓流水瀑ツアーの広告を2023/12/01～2024/02/29まで配信　表示回数：133,000　クリック数：6,727

リリース配信により、海外向けに取り組みが紹介された事例も



SNS広告を実施した各事業の集客に、

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ③ v. 宣伝、情報発信事業 YouTube動画制作①



#### 十和田エリア渓流釣り及び十和田市街地のYouTubeプロモーション

- 2023年新しく造成にした「渓流釣り体験」の魅力を国内外に広くPRするため画像及び動画の撮影を行い、YouTubeチャンネル名「RIKI OIKAWA」、「中野光大」にて公開するほか、インフルエンサー二人のInstagramで写真を投稿し、渓流釣りを中心として長期滞在向け旅行商品パッケージの売り出しにより誘客促進を図った。



RIKI OIKAWA

@rikioikawa66 - チャンネル登録者数 3.2万人、255本の動画

このチャンネルの詳細 >

[チャンネル登録](#) メンバーになる



中野光大

@kohdainakano - チャンネル登録者数 1,970人、158本の動画

こんなに私は十和田光大です。よろしくお読みいこまざ >

[Instagram.com/kohdainakano](#)

[チャンネル登録](#)

【プロフィール】及川力氏はYouTubeとInstagramのフォロワー数が多く東北では高い影響力を持つYouTuberである。

YouTubeチャンネル登録者数：3.2万人超え。  
Instagramフォロワー数1万超え

【プロフィール】中野光大氏は渓流釣りで、最も使われているルアーに特化したフィールドスタッフで、渓流釣り愛好者の中で影響力が強い。

YouTubeチャンネル登録者数：2,000人超え。  
Instagramフォロワー数約3500人。

YouTubeチャンネル：  
<https://www.youtube.com/@rikioikawa466>  
Instagram：  
[https://www.instagram.com/riki\\_oikawa\\_insta/](https://www.instagram.com/riki_oikawa_insta/)

YouTubeチャンネル：  
<https://www.youtube.com/@kohdainakano>  
Instagram：  
<https://www.instagram.com/nakanokohdai/>

プロモーション動画QRコード：



プロモーション動画QRコード：



Part1

Part2

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ③ v. 宣伝、情報発信事業 YouTube動画制作②



#### イグルー作り体験 YouTubeプロモーション

- 十和田市の冬コンテンツイグルー作り体験の魅力を国内外に広くPRするため画像及び動画の撮影を行い、YouTubeチャンネル「田中なつき/なっちゃん」にて公開したほか、田中なつき氏のInstagram及びXアカウントで写真を投稿し、当該イベントへの誘客促進を図った。



田中なつき/なっちゃん。

@user\_hw7in6vi4h - チャンネル登録者数 27.3万人、776本の動画

青森県八戸市を拠点として全国で活動中！フリーのタレントとしてTVやラジオに出演したり... >

[twitter.com/nachangagaga](#)、他1件のリンク

[チャンネル登録](#)

YouTubeチャンネル：  
[https://www.youtube.com/@user\\_hw7in6vi4h](https://www.youtube.com/@user_hw7in6vi4h)  
Instagram：  
<https://www.instagram.com/nachangagaga/>

【プロフィール】田中なつき氏は、青森県出身のインフルエンサー。YouTubeチャンネル「田中なつき/なっちゃん」は、東北観光を中心に、旅行関連の内容を発信しており、多くの視聴者を獲得している。

Youtubeチャンネル登録者数：27.3万人超え。  
Instagramフォロワー数1万超え。

プロモーション動画QRコード：



## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ③ v. 宣伝、情報発信事業 YouTube動画制作③



### スナック巡りツアーのYouTubeプロモーション

- 十和田市市街地で展開する「スナックを巡りツアー」の魅力を国内外に広くPRするため画像及び動画の撮影を行い、YouTubeチャンネル「田中なつき/なっちゃん」にて公開するほか、田中なつき氏のInstagram及びXアカウントで写真を投稿し、当該イベントへの誘客促進を図った。



田中なつき/なっちゃん。

@user-hw7in6vi4h - チャンネル登録者数: 27.3万人、778本の動画  
青森県八戸市を拠点として全国で活動中! フリーのタシントとしてTVやラジオに出演したり... ›  
[twitter.com/nachangagaga](https://twitter.com/nachangagaga)、他1件のリンク

チャンネル登録

YouTubeチャンネル：  
<https://www.youtube.com/@user-hw7in6vi4h>

Instagram：  
<https://www.instagram.com/nachangagaga/>

【プロフィール】 田中なつき氏は、青森県出身のインフルエンサー。YouTubeチャンネル「田中なつき/なっちゃん」は、東北観光を中心に、旅行関連の内容を発信しており、多くの視聴者を獲得している。

Youtubeチャンネル登録者数：27.3万人超え。  
Instagramフォロワー数1万超え。

プロモーション動画QRコード：



## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業 ③ -vi. 宣伝、情報発信事業 宣材写真撮影（素材撮影・ドローン撮影・編集）



- 保有している宣材及びその利用状況を考慮し、十和田市の春夏秋冬のPRにつながる新規素材を撮影した。
- 既存動画素材を一部カットの差し替えにより再編集した。

2023年度実績

動画撮影	鳶沼の朝焼け
動画編集	2本(ヘルメット着用のない自転車運転シーンを差し替え、公式PR映像を再編集した)
スチール撮影	官庁街通り(桜)、奥入瀬渓流(新緑、紅葉、雪)、休屋(新緑、紅葉、雪)、瞰湖台(新緑、紅葉、雪)、発荷峠(新緑、紅葉)、御鼻部山(新緑)、しぶき水



既存動画のカット差し替え





## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ③ vi. 宣伝、情報発信事業 動画・画像撮影及び人材育成

- 十和田市の魅力を国内外に広くPRするための宣材用画像及び動画の撮影を行い、当機構のYouTubeチャンネル等にて公開したほか、国内外の観光プロモーション等に活用し、観光誘客促進を図った。また当機構職員の撮影及び編集技術も向上し、人材育成活動を行った。
- 2023年度には、5本のPR動画を撮影し、2024年度のPR活動にも活用する予定。
- 撮影の期間中に各事業の担当職員が同行し、スチール撮影・動画撮影及び編集技術についてカメラマンの指導を受けた。

撮影日・会場	テーマ	詳細
9月5日(火)終日 奥入瀬渓流	奥入瀬渓流	仙台城 DMO との連携事業において別添のとじ タニタ・タツ・セミナー(9/4~9/6) 第1回撮影会コンペティション
9月6日(水)午前 奥入瀬渓流テラス	奥入瀬渓流テラス	日本伝統釣法「テンカラ」を使用した釣り。 第2回撮影会コンペティション
9月8日(金)午後～ 9月10日(日)	十和田市秋まつり	時代絵巻の山車の運行や十和田仙台の土産子、 参加者の撮影を中心にしたお祭り
10月29日(日)～ 11月2日(木)	紅葉	昇入料改定、十和田市秋まつり幕張前町、 吉良家レストラン
1月中旬～2月中旬	奥入瀬渓流水深マーク	奥入瀬渓流沿岸スポットのアイトアップを兼ねた 撮影会
1月中旬～2月中旬	十和田湖冬景色	十和田湖の冬景色。イルミネーションポイント を施術(詳細は未定)

## 事業報告【2】委託業務 1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ③ -vii. 宣伝、情報発信事業 カレンダー・ポスター制作



十和田市出身の写真家である和田光弘氏から写真ご提供頂カレンダーを制作し、県内外の観光施設や企業へ配布した。十和田市街地、奥入瀬渓流、十和田湖それぞれの四季を表す写真を使い、十和田市の魅力を発信した。

#### 2023年度実績

##### 観光カレンダー

作成部数：十和田市観光カレンダー130部 十和田湖奥入瀬カレンダー300部  
配布実績：430件（県内他自治体129件、県外73件、エージェント関係90件、市内100件、十和田湖の四季写真コンテスト景品用20件、その他18件）



## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業 ③-viii. 宣伝、情報発信事業\_十和田湖の四季写真コンテスト



十和田湖及びその周辺地域の優れた景観や行祭事等の写真を通して、その魅力を広く周知するとともに、観光誘致、自然保護意識の向上を目的として開催。

第37回となる2023年度は、52名240点の応募があった。入賞作品は、十和田ビジターセンター（2024年2月17日～3月24日）、十和田湖観光交流センター「ぶらっと」（2024年4月1日～5月5日）の2つの会場にて展示を行う。

審査は、カメラマンの和田光弘氏と、小松ひとみ氏の2名に依頼し、17点の作品が入賞。入賞作品は、Webサイト等の素材として使用し、十和田湖エリアの魅力をアピールするために活用している。

受賞作品と表彰式の様子



環境大臣賞 福井治久さん  
「星と雲海漂う十和田湖」



国土交通大臣賞 柏倉啓さん  
「初冬の奥入瀬」



表彰式 (十和田ビジターセンター)

## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業 ③-ix. 宣伝、情報発信事業\_プレスリリース及びその他関連活動



- メディア露出を増加させるため、イベントごとに報道機関に向けたプレスリリース及び広告出稿を実施した。
- メディアなどによる取材・素材提供・原稿校正の依頼に対応し、十和田市の観光やイベント等の認知度向上に取り組んだ。
- 地域のインバウンド促進へのサポートとして、翻訳・通訳（英語、中国語、韓国語）の依頼にも対応した。

### 2023年度実績

メディア掲載	317件(前年度198件)、うち広告24件 内訳：機関全体116件(前年度92件)、十和田湖湖水まつり35件(前年度36件)、十和田湖冬物語35件(前年度23件)、水瀑ツアーナー65件(前年度39件)、その他66件(前年度8件)
プレスリリース	27件(前年度36件)
観光PR素材提供	114件(前年度115件) 内訳：写真・動画素材107件(前年度107件)、PRキャラクターデザイン7件(前年度8件)
書面取材・原稿校正	251件(前年度176件)

水瀑が旅行専門メディアじゃらんのランキング1位に輝いた上、さらにTBSに取り上げられた



主催した写真コンテストは撮影専門誌に紹介された



「第37回十和田湖の四季写真コンテスト」入賞作品を掲載



## 事業報告【2】委託業務\_1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成・モニターツアー実施 溪流釣り体験ツアー①



■ 釣りや食を通じて十和田の魅力に触れ、十和田ファンになっていただく為の長期的滞在を促す体験型コンテンツを作成した。他地域のDMOや観光協会などから、釣りやアウトドアに精通したメンバーに参加していただき、フィッシングツーリズムのコンテンツアップを図り、今後の他地域との交流の土台を築くことを目的にツアーを実施した。

ツアー詳細

開催日：

2023年09月04日~06日 08:00~16:00  
2023年09月25日~27日 08:00~16:00

集合場所：奥入瀬溪流館駐車場（現地集合・現地解散）

対象：他地域のDMOや観光協会等

参加者：

2023年09月04日~06日

南紀串本観光協会 事務局長 宇井晋介  
南紀串本観光協会 スタッフ 木下大己  
福島県観光物産協会 国内誘致課 課長 岩渕豪  
大阪観光局 観光コンテンツ開発担当部長 中村哲也  
代理：西村剛

2023年09月25日~27日

相馬市観光協会 ガイドの会 会長 久田浩之  
相馬市観光協会 ガイドの会 会員 管野 功  
相馬市観光協会 ガイドの会 会員 管野芳正  
相馬市観光協会 ガイドの会 会員 管野雄三



参加者集合写真①



参加者集合写真②

## 事業報告【2】委託業務\_1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成・モニターツアー実施 溪流釣り体験ツアー②



### ■ 体験ツアー当日の様子：

例年に比べて気温が非常に高い日々が続き、近辺の河川の水温が例年より高く、魚の活性が不安定な状況であった。十和田市内の河川から水温が比較的に萬川を選別し、溪流釣り体験ツアーを実施した。萬川は奥入瀬川と合流する場所から500メートルは三つの区間に分けられ、各区間の特有な魅力を体感いただいて、コンテンツ全体の魅力をアップすることができた。



着替え及び釣り道具のセッティング



河川まで案内



参加者に道具の使い方を指導



参加者が釣りをしている様子



釣りポイントの案内



指導を受けている参加者

## 事業報告【2】委託業務\_1 戰略的観光地域づくり推進事業

### ④ i . 旅行商品造成・モニターツアー実施\_避暑地十和田でゴルフトーク①



■ 着地型のSIT (Special Interest Tour=目的型旅行) 商品のブラッシュアップを図り、今後、FDA青森神戸線連携事業並びに他地域DMOとの意見交換の土台を築き、十和田へのMICE誘致推進を目的として企画。猛暑が続く関東圏、関西圏から避暑し、涼しい中でゴルフを楽しんでもらうコンテンツのモニターツアーを実施した。

ツアードetail

開催日：

2023年08月29日~31日 2泊3日

2023年09月13日~15日 2泊3日

対象：

他地域のDMOのMICE担当者、メディア関係者、大学教授等

場所：

みちのく国際ゴルフ俱楽部

十和田湖高原ゴルフクラブ

参加者名簿：

2023年08月29日~31日

㈱和歌山リビング新聞社代表取締役社長 西田弘

ラジオ日本 関西支社社長 更谷 俊和

紀伊高原ゴルフクラブ 前代表取締役 鳥井秀明

2023年09月13日~15日

神戸コンベンションピューロー MICE担当 貢上亨

神戸海星女子学院大学 教授 酒井新一郎

流通科学大学 教授 西村典芳



参加者集合写真①



参加者集合写真②

## 事業報告【2】委託業務\_1 戰略的観光地域づくり推進事業

### ④ i . 旅行商品造成・モニターツアー実施\_避暑地十和田でゴルフトーク②



■ ツアーデayの様子：



十和田湖高原ゴルフクラブにて①



十和田湖高原ゴルフクラブにて②



十和田バラ焼きを堪能



十和田市現代美術館へ立ち寄り



谷地温泉に宿泊



MICE誘致先として十和田湖を視察

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成・モニターツアー実施 イグルー作り体験ツアー①



- 十和田の冬の観光資源である雪を楽しむ、多人数で参加できるコンテンツを作成した。遠方からの旅行者だけでなく、近隣地域の家族連れも楽しめる、冬の十和田の代表的な体験に仕上げることを目指している。

### イグルー作り体験in焼山スキー場

#### ■ ツアー詳細

開催日：2023年2月10日（土）～11日（日）

天気：曇りのうち雪 平均気温：-5.2°C ※十和田のアメダスより

集合場所：奥入瀬溪流温泉スキー場  
(現地集合・解散)

主催：（一社）十和田奥入瀬観光機構

スケジュール：

09:00 奥入瀬温泉スキー場集合  
09:00～09:15 開催の挨拶＆自己紹介  
09:15～12:00 イグルー作り  
12:00～13:00 馬肉鍋ランチ  
13:00～16:00 イグルー作り  
16:00 イベント終了

二日間延べ参加人数：18名

参加者： 北里大学学生、一般参加者など



奥入瀬溪流温泉スキー場 イグルー作り体験集合写真



## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成・モニターツアー実施 イグルー作り体験ツアー②



#### ■ 体験ツアー当日の様子：

例年より雪不足の状況を受け、水分の少ない固まりづらい雪であるかどうかについて事前調査をした。調査の結果、水分が少ない雪が40～50cm程度積もっており、1つのブロック(雪塊)の高さが30cm以内であれば積み上げが可能であることを確認。事前準備の上、当日の体験をスムーズに実施した。



北里大学の学生たち



体験開始前の自己紹介



レクチャーの様子



雪を踏み固めている様子



お子さん連れのファミリー



馬肉鍋を楽しめるランチブレック

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成・モニターツアー実施\_スナック巡りツアーア



- 実施目的：スナック巡りのツアー造成・販売へ向けて、モニターツアーを実施することで、アンケート収集を行い、適性価格、改善点や、セールスポイント等を探る。

■ 実施内容：

2-1. インバウンド向けモニターツアー

実施日時 2024年2月15日（木）午後6時30分～9時30分

参加費 \$20-/ 実施場所 ツアー参加店

ルール 参加店舗を1時間1店舗ずつまわり、計3店舗のスナックを巡る

参加者 ITT三沢から18名（6名×3ルート）+ 随行職員



2-2. 取組周知及び日本人向けモニターツアー

実施日時 2024年2月28日（水）午後6時30分～9時30分

参加費 2,000円/ 実施場所 2-1と同様/ ルール 2-1と同様

参加者 十和田市役所、十和田商工会議所、ホテル関係者、北里大学生、マスコミ等



■ 実施効果：

- (1) 十和田市の飲食店街にお客様を誘致し活性化を図った。
- (2) 酒類の消費拡大を図り、飲食店と酒類販売店の共存共栄に寄与した。
- (3) 参加者にリピーターになっていただけるよう、参加店のPR活動の機会を作った。
- (4) 参加者相互のコミュニケーションと交流拡大に寄与した。
- (5) 「オンラインマップとわだ酒場放浪」の活用を増進した。
- (6) 北里大学生との交流に加えて、ボランティアガイドの育成へ向けて準備を始めた。

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ④ i. 旅行商品造成\_十和田湖湖水まつりにおける新規商品検討



- 十和田湖畔で58回にわたり行われ、十和田市内で最も広域からの集客力のあるイベントである十和田湖湖水まつりにおいて、当機構における商品造成を検討すべく、まつり実施主体とは別に、灯ろう流し、縁日コーナー、メッセージ花火を実施した。荒天の影響で2日のうち1日が中止になったものの、開催された1日で多くの集客を得た。十分な集客のなかで商品造成を行うことで、商品造成功力を試すことができた。



灯ろう流し  
十和田湖畔で町内会が主体となり旧盆に行われてきた灯ろう流しを湖水まつりで再現。市内事業者に灯ろう作成を依頼し、灯りはLEDとすることで再利用可能なエコな商品を実現した。  
販売数/販売目標：191個/640個



縁日コーナー  
まつりの日に湖畔の事業者は営業しているものの、子どもが気軽に体験できるコーナーがなかったことから造成。射的やスーパーボール釣りなどまつりらしいコンテンツが人気だった。  
販売額：155,200円  
協力：パワフルジャパン十和田



メッセージ花火  
花火の打ち上げ数を増やし、また同時に、参加者の特別なメッセージをお預かりすべく、メッセージ花火を一般販売した。  
販売数/販売目標：14発/50発

## 事業報告【2】委託業務1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ④ ii. 観光開発関係費 他のDMOとの連携による周遊促進の検討



■ 他DMOとの連携として、2023年3月に観光庁「高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地」に選定された八幡平市の事業に協力した。2023年度に3回行われた意見交換会のうち、八幡平市、秋田県北エリアに続き、3回目の意見交換会を当市にて受入を行った。ファムツアーやワークショップを2日間にわたり実施した。(2024年1月22日、23日実施)



十和田奥入瀬エリアにおけるファムツアーや観光庁、東北運輸局等の関係者が参加し、奥入瀬渓流のグリーンストローモビリティの実証実験、そして氷濱ツアーハウスへと参加した。参加者からは、グリースロの先進的な取組への評価と、国立公園特別保護地区における先進的な事例である氷濱ツアーハウスへの好評価が聞かれた。

第3回モデル観光地意見交換会、マスター・プラン討議  
青森県、各DMOからの話題提供のほか、「北東北らしさ」についてのワークショップ、マスター・プラン討議を行った。  
参加者：観光庁、東北運輸局、環境省十和田八幡平国立公園管理事務所、青森県、八戸市、十和田市、北秋田市、仙北市、ClanPEONY津軽、VISITはちのへ、秋田犬ツーリズム、青森銀行、JR東日本企画、岩手ホテル＆リゾート、JTB青森支店、奥入瀬屋、八幡平市、八幡平市観光協会、八幡平DMO

## 事業報告【2】委託業務1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ⑤ i. 受入体制整備費 外部専門人材の各種リサーチ・セミナー①



■ 部会、座談会及びセミナーを適宜開催し、情報の提供、観光事業者のスキルアップに努めた。

種別	日時	外部専門人材(敬称略)	出席者	主な議題
全体総会	2023年6月27日(火)	株式会社八幡平DMO 代表取締役 畑 めい子	現地:52名 ZOOM:12名	「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」
第一回全体部会	2023年8月25日(金)	①株式会社インプリージョン 代表取締役 オダギリサトシ ②JR東日本 盛岡支社 地域共創部 地域連携ユニット ユニットリーダー 小坂 一将 ③青森県DX総合窓口(あおもりIT活用 サポートセンター) 風晴 翔太	23名	①QRコードによる来訪者アンケート調査報告 ②Suica電子マネーをはじめとしたキャッシュレス化の推進について ③DXのワンストップ相談窓口オープン
第二回全体部会	2023年11月17日(金)	株式会社おてつたび／新規事業及び 自治体連携担当 飯田 瑞己	12名	①全国から観光サービス業&農業人材が確保できる仕組み
市民向け講座 (奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会と共催)	2024年2月17日(土)	ネイチャーガイド 川村 祐一 青森県道路課課長 鈴木 英宗 名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤 博和	40名	「奥入瀬渓流の魅力とこれから」 話題提供及びパネルディスカッション
第三回全体部会 (青森県観光企画課と 共催)	2024年3月15日(金)	ハーチ株式会社 IDEAS FOR GOOD Business Design Lab 所長 パソナJOB HUB ソーシャルイノベーション部長 加藤 遼	現地:20名 ZOOM:19名	「サステナビリティ(持続可能な)・サーキュラーエコノミー(循環型経済)推進を通じた地域活性化」

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ⑤ i. 受入体制整備費 外部専門人材の各種リサーチ・セミナー②



■外部専門人材による情報提供、各種セミナーについては、以下のとおりである。



「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」

株式会社八幡平DMO  
代表取締役 畑 めい子氏

八幡平DMOは観光庁より全国で集中支援の対象である「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」に選定され、その実績とノウハウを共有いただいた。



「QRコードによる来訪者アンケート調査報告」

株式会社インプリージョン  
代表取締役 オダギリサトシ氏

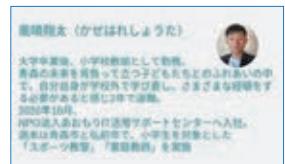
2023年4月1日～2023年6月30日までのQRアンケート調査の結果を報告。今後のターゲットである東京在住の20代～30代の女性のクロス集計、他の観光地との対比報告を行なった。



「Suica電子マネーをはじめとしたキャッシュレス化の推進について」

JR東日本 盛岡支社 地域共創部  
地域連携ユニット ユニットリーダー 小坂 一将氏

交通系電子マネーの市場、Suicaについて解説。キャッシュレス決済の環境や、Suica加盟店の導入効果についても解説いただいた。会員向けの部会にも参加いただき、質疑応答を行なった。



龍崎駅友（かぜはれしょうた）

大学卒業後、小学校教師として勤務。  
青森の未来を育むべく立派な先生を目指す中で、自分自身が学び場で学び直し、さまざまな経験をする機会を得て、2022年に退職。  
2022年10月、JRの法人おもてなし活用サポートセンターへ入社。  
JR東日本青森支社と協働して、小学生を対象とした「スマート教室」「家庭教師」を実施

「DXのワンストップ相談窓口オープン」

青森県DX総合窓口(あおもりIT活用サポートセンター)  
風晴 翔太氏

当日はZOOMで参加。青森県DX総合窓口を解説し、IT導入やDX関連の補助金情報や、申請書や日報をペーパレス化など、企業の課題に応じて支援できることを共有。

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業 ⑤ i. 受入体制整備費 外部専門人材の各種リサーチ・セミナー③



■外部専門人材による情報提供、各種セミナーについては、以下のとおりである。



「全国から観光サービス業＆農業人材が確保できる仕組み」

株式会社おてつたび 新規事業及び自治体連携担当 飯田 瑞己氏

第二回の全体部会にて、人材獲得に苦労している事業者が多かったため、人手不足で困っている事業者と、地方で働きたい人をマッチングさせるプラットフォーム「おてつたび」について解説。



市民向け講座「奥入瀬渓流の魅力とこれから」

1. 話題提供 「『知っているとおもしろい！ 奥入瀬渓流とエコツーリズム』  
NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会事務局長 ネイチャーガイド 川村祐一
2. 話題提供 「奥入瀬渓流利活用の一連の取組について」  
青森県国土整備部道路課 課長 鈴木英宗
3. 講演 「交通の脱炭素化はなぜ必要か？ どうすればできるのか？」  
EST普及推進委員会委員長 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤博和



「サステナビリティ、サーキュラーエコノミーを通した地域活性化」

ハーチ株式会社 IDEAS FOR GOOD Business Design Lab 所長  
パソコンJOB HUB ソーシャルイノベーション部長 加藤 遼氏  
サーキュラーエコノミー(循環型経済)について解説。オランダ政府の事例、大手企業がサーキュラーエコノミーに取り組み、人気が高まっている事例、今後の成長性などを共有いただいた。

## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ⑤ ii. 受入体制整備費 観光地DX事業



当機構における指定管理施設において、人流データを活用するため、十和田市観光物産センターおよび十和田湖観光交流センターにビーコンを1月より配置した。本期中はデータの使い方を検討しながら、両施設における顧客分析、相互通遊率を把握した。今後、市街地エリアと国立公園エリアの回遊や、市街地における回遊状況を調査し、KPI等に反映させるべく、調査の再設定を行っていく。



## 事業報告【2】委託業務 1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ⑤ iii. 受入体制整備費 インターン生受け入れ



当地域における関係人口創出の取組として、学生に限らず、働きながら一時的に地域に暮らしてもらう方を募集するため、「おてつたび」を活用した。十和田湖冬物語期間中に、イベントへの従事を基本しながら、従事の様子や、周辺を散策した様子などについては、SNSアカウント「十和田湖の日常 (@towadako\_nichijo)」及び「十和田湖冬物語 (@towadako\_winter)」において発信を行った。

参加人数：4名  
参加期間：延べ91日間

従事内容：十和田湖冬物語（会場整備、アナウンス、感動箱）、SNS運用、  
その他地域内における活動への参加 等



## 事業報告【2】委託業務1：戦略的観光地域づくり推進事業

### ⑤ iv. 受入体制整備\_芝桜アートマルシェ



奥入瀬渓流温泉スキー場 芝桜アートマルシェ事業

目的：十和田市内の春まつり終了後、焼山エリアにお客様を呼び込むイベントとして毎年開催している。

奥入瀬渓流温泉スキー場入口にて、来訪者の満足度向上に繋げるためマルシェを開催。消費拡大及び滞在時間の延長を図った。

#### ・開催期間

2023年5月6日（土）7日（日）、13日（土）14（日）  
10:00～15:00



2023年5月7日（日） 東奥日報 朝刊

令和5年度 奥入瀬渓流温泉スキー場 芝桜アートマルシェ来場者数（推定）					
日付	曜日	天気	駐車台数（推定）	日別来場者（推定）	備考
5月5日	金	晴れ	30	483	RAB 18:00～ ニュースレーダー 55秒の露出
5月6日	土	雨	10	161	マルシェ雨天中止
5月7日	日	曇り	80	1288	マルシェ開催 東奥日報 初刊掲載
5月8日	月	雪	10	161	降雪、気温も低く来場者はぼなし
5月9日	火	雨	10	161	雨、気温も低く来場者はぼなし
5月10日	水	晴れ	30	483	
5月11日	木	晴れ	30	483	
5月12日	金	晴れ	40	644	
5月13日	土	晴れ	70	1127	マルシェ開催
5月14日	日	曇り	80	1288	マルシェ開催 東奥日報 初刊掲載



## 事業報告【2】委託業務1. 戰略的観光地域づくり推進事業

### ⑥ i. 海外商談会・旅行博参加\_日本東北遊楽日2023参加（台湾・台北市）



#### ■「日本東北遊楽日2023 新・魅力再発見！」概要

2014年に「日本東北六県感謝祭」としてスタートした「日本東北遊楽日」は、2016年に10万人を動員した人気イベントへと成長した。2022年度に実施した台湾人向けアンケート調査の結果によると、2021年のイベント来場者のうち、約30%がその後東北を訪れており、出展した自治体にも足を運んでいることが分かっている。

#### ■開催概要

主催：一般社団法人東北観光推進機構

日程：2023年12月8日 台湾旅行会社と東北各自治体との合同商談会

12月9日～10日 イベント開催

場所：台北市華山1914文化創意産業園区 東2A～2D

来場者数：9日44,000名、10日48,000名 合計約93,000名



#### ■所感

-合同商談会（BtoB）

奥入瀬の秋は非常に人気があるが、宿泊施設のバリエーションが少なく、食事場所も乏しいとの声を多くいただいた。青森・台北間の定期便が早く復活して欲しいとの要望をいただいた。

-イベント（BtoC）

インスタグラムフォローを促しながらノベルティを配布する一方、一般客からの旅行相談にも対応した。行きたいがアクセス方法が分からない、言語の壁で情報までたどり着けないなどの声が多かった。

## 事業報告【2】委託業務 1. 戦略的観光地域づくり推進事業 ⑥ ii. インバウンドFAM招聘



### ■青森県国際戦略局誘客交流課からの委託

県が主体の海外旅行会社の視察周遊ツアーにおける十和田地区内でのガイド斡旋、手配、帯同などを請け負い、地域の魅力をアピールすると同時に、DMOとしての役割も認識してもらった。

-2023年5月15日台湾 日本食レストランオーナー来訪 鳩正宗酒蔵見学

- 2023年5月17日香港 旅行会社来訪 奥入瀬渓流観光

- 2023年9月6日台湾 旅行会社来訪 奥入瀬渓流観光

- 2024年3月6日台湾 旅行会社来訪 かまくらドームレストランでのランチ

### ■旅行会社台湾担当者招聘

首都圏の旅行業者の台湾担当者（企画・販促など業務内容は問わず）を招聘し、冬季観光コンテンツを体験してもらった。冬季は2次交通問題が顕著であることから、現場での距離感やアプローチ付き商品の重要性を感じてもらいました。

参加者の感想（アンケートより抜粋）

「台湾ではなかなか雪を見ることができないので、この旅では今まで見たことのないような壮大な雪景色を楽しむことができた。日本の樹氷といえば蔵王が有名なのであまり期待していなかったが、行ってみたら想像をはるかに超えた。もっと多くの人に知っているような発信とツアー造りが大切だと思う。奥入瀬渓流では、昼間と夜では全く違う景色を見る事ができた。ガイドさんを通して、冬は熊が冬眠すること、熊が好んで食べるブナの実などを知ることができ、観光は純粋な観光ではなく、文化や知識の旅でもあるのだよ」と感じました。」



## 事業報告【2】委託業務 2. 特定重点業務実施事業 ① 冬季観光充実関係事業 奥入瀬渓流水瀑ツアー



2017年度より事業が開始され、当機構では2020年度より委託を受け運営している。例年プラスアップを重ね、冬季観光をリードするコンテンツになりつつある。

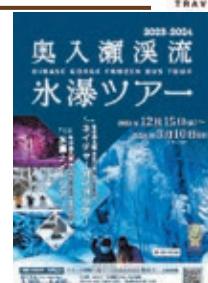
### ■実施概要

ツアー期間：2023年12月15日～2024年3月10日

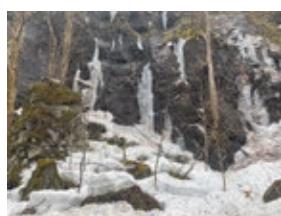
#### コース内容：

- ①冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー 十和田市街地発着
- ②冬の奥入瀬 ネイチャーガイドツアー 七戸十和田駅発着
- ③冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー 十和田湖発着
- ④十和田湖アクセスバス

販売価格：大人ひとりあたり3,300円～4,400円（アクセスバス片道1,650円）  
小学生半額、未就学児無料



ガイド研修を実施



2024年2月20日の馬門岩



2024年2月27日の馬門岩

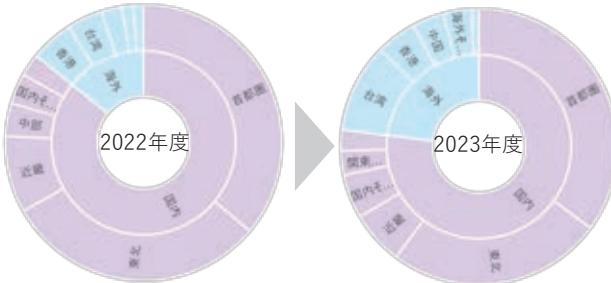
## 事業報告【2】委託業務 2. 特定重点業務実施事業

### ① 冬季観光充実関係事業 奥入瀬渓流水瀑ツアー



地域別参加者数

	2022年度		2023年度		前年比
	参加者数	占有率	参加者数	占有率	
<b>国内</b>					
首都圏	483	36.0%	518	35.0%	107.2%
東北	412	30.7%	373	25.2%	90.5%
近畿	121	9.0%	93	6.3%	76.9%
関東甲信越	35	2.6%	42	2.8%	120.0%
中部	52	3.9%	36	2.4%	69.2%
国内その他	48	3.6%	76	5.1%	158.3%
<b>海外</b>					
台湾	57	4.3%	154	10.4%	270.2%
香港	67	5.0%	70	4.7%	104.5%
中国	0	0.0%	55	3.7%	-
マレーシア	8	0.6%	13	0.9%	162.5%
海外その他	58	4.3%	49	3.3%	84.5%



インバウンド全体で前年比179.5%と大幅に上昇。インバウンド比率も14.1%から22.9%へ上がったものの、2019年(数値)はどの回復には至っていない。国別では台湾からの来訪者数が前年比270.2%となり、伸び率も群を抜いていた。

国内からの参加者は、昨年度同様に首都圏と東北で約半数を占めており、首都圏からの参加者が微増した。全体参加者数は過去4年間で最高を記録したが、12、1、3月が大きく前年を下回った。東北在住の参加者のうち79.4%が青森県内であるため、暖冬の影響も考えられる。また2月は3連休が2回あったため前年を大きく上回った。

## 事業報告【2】委託業務 3. 指定管理業務

### ①. 十和田市観光物産交流施設指定管理業務



#### 十和田市観光物産センター

住所:十和田市稻生町15番3号  
アートステーショントワ内  
電話:0176-24-3006 FAX:0176-24-3007

2023年度来館者数30,727人(対前104%)

- 十和田市観光物産交流施設(十和田市観光物産センター)の指定管理者として管理業務を行った。
- 市街地の情報発信拠点として、観光案内カウンター及びパンフレット棚を設置し、旅行者及び市民に対し、観光案内や情報提供を行った。
- 物産コーナーにおいては、十和田市の特産品販売PRセンターとして、道の駅とわだを指定管理する株式会社パワフルジャパン十和田が使用許可を得てテナント運営を行っている(2020年8月~)。
- 指定管理者としてパワフルジャパン十和田と連携し、エフエム青森の販促企画との連携やASTピアガーデンの実施、「まける日」の実施に参加し、当該施設のPR及び売上増につなげた。
- 併設の厨房は年初は「サンキューバナナ」として営業したのち、2023年9月より、十和田高校会議所による店舗「えすばわーる」がテナントとして使用許可を受けて店舗を運営している。



## 事業報告【2】委託業務\_3. 指定管理業務

### ②. 十和田湖観光交流センター指定管理業務



#### 十和田湖観光交流センター「ぱらっと」

住所:十和田市大字奥瀬字  
十和田湖畔休屋486  
電話:0176-75-1531 AX:0176-75-1535

2023年度来館者数59,770人(対前203%)

- 十和田湖観光交流センターの指定管理者として管理業務を行った。
- 十和田湖の情報発信拠点として、観光案内カウンター及びパンフレット棚を設置し、旅行者に対し、観光案内や情報提供を行った。また外国人旅行者(在日外国人含む)向けに英語・中国語・韓国語等が話せるスタッフを配置し、多言語による案内業務を行っている。
- 施設2階にある交流室(会議室)の貸出業務を行った。
- 1~2階の展示品に関する紹介・保守業務に努めた。
- 2023年度から、十和田観光電鉄(遊覧船)が使用許可を得て同館の一部を使用している。当機構は、遊覧船と連携した情報提供に努めた。
- 遊覧船乗客が来館することにより、来館者数は倍増した。この機をとらえるとともに、閑散期対策を今後充実させていく必要がある。



	2023年度	2022年度	備考
4月	2,647人	1,147人	十鉄遊覧船運航開始(4月28日~)
5月	6,616人	2,833人	
6月	5,494人	1,960人	
7月	8,140人	4,653人	十和田湖水まつり開催
8月	10,162人	2,797人	
9月	7,074人	3,714人	縄文写真展開催(鹿角地域振興局、1日~29日)
10月	10,618人	5,482人	奥入瀬渓流自然博物館(エコロードフェスタ)開催
11月	4,554人	2,365人	遊覧船運航終了(~11月20日)
12月	1,301人	953人	みなどオアシス写真展(八戸港湾事務所、19日~25日)
1月	1,028人	856人	
2月	1,043人	1,228人	十和田湖冬物語開催
3月	1,093人	1,417人	
計	59,770人	29,405人	

## 事業報告【2】委託業務\_3. 指定管理業務

### ②. 十和田湖観光交流センター指定管理業務 東北の観光案内所ネットワーク化事業



#### 目的

仙台市文化観光局東北連携推進室の業務において、東北6県の観光案内所の連携を通じ、東北全体の交流人口拡大と旅行者の受入れ環境整備等を目的として、2017年度より行っている事業。2023年度は34都市42か所の観光案内所が連携し、事業を進めた。十和田湖観光交流センター「ぱらっと」は2023年度も継続して参加し、常時他の観光案内所と連携・相談できる体制を構築しているほか、研修会への参加等を行った。

#### ◎研修会への参加

2023年9月18日~19日、東京駅日本橋口にある観光案内所「TIC TOKYO」のスタッフ研修に参加するとともに、同じ東京駅付近の観光案内所としてのJNTO 観光案内所(新東京ビル内)及び東京シティアイ(KITTE丸の内内)を見学した。外国人の応対が多く、デジタル化とアナログのはざまで揺れる案内所業務のグッドプラクティスを共有し、観光案内所のあるべき姿についての知見を深めた。



TIC TOKYOのデジタルサイネージ



KITTE丸の内にある東京シティアイでは、サイネージの活用、多言語スタッフ以外に「心のバリアフリー」認定を取得し、案内能力だけではなく、「話しかけやすい」雰囲気づくりにも取り組んでいる。

東京駅直結の新東京ビル内にあるJNTO観光案内所。多言語に対応するスタッフだけではなく、筆談ツールや聽覚障がい者向けアプリなどがあることを表示し、ユニバーサルツーリズムに対応している。

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（環境省）

### ①.2023年度休屋集団施設地区冬季利用促進検討業務①



- 発注者：環境省東北地方環境事務所

- 契約期間：2023年12月21日から2024年3月22日まで

- 契約金額：997,832円

- 目的（仕様書より一部抜粋）

2016年度に開始した十和田八幡平国立公園満喫プロジェクトにおける基本方針のひとつである「冬季利用の促進」のため、当公園の最大の利用拠点である十和田湖畔において、地域の関係者が実施する冬季イベントの開催にあわせて、新たな体験コンテンツを造成・試行し、利用者の体験の向上を図るとともに、試行を通じて地域内外の連携を強化し継続的な冬季利用の促進に繋げること

- 業務内容（仕様書より一部抜粋）

#### 1.スノーハウスの設営

十和田湖冬物語期間中、圧雪ブロック式のスノーハウス（以下、「イグルー」という。）を北駐車場周辺の園地内の利用者動線上に設営し、利用者に共用する。設営は期間中の2日間程度で実施することとし、安全面の専門家の指導を得て行うとともに、地域内外からボランティアを募り、設営自体をイベント化して利用促進につなげる。

#### 2.スノーパークの造成

夜間のプログラムを主とする十和田湖冬物語において課題となっている日中の滞在場所を創出するため、スノーパークを造成すること。造成は1月中に開始し、2月からは利用可能な状態とすること。安全に利用できるよう必要な範囲で除雪と地ならしを行うとともに、特に親子連れが利用できるような遊具を作成する。

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（環境省）

### ①.2023年度休屋集団施設地区冬季利用促進検討業務②



- 十和田の冬の観光資源である雪を楽しむ、多人数で参加が出来るコンテンツを作成した。

- 遠方からの旅行者だけでなく、近隣地域の家族連れも楽しめる、冬の十和田の代表的な体験に仕上がるこことを目指している。

#### イグルー作り体験in十和田湖

- ツアーデtails

開催日：2023年 2月7日（水）、8日（木）  
天 気：曇り/ち雪 平均気温：-7.2°C ※休屋のアメダスより  
集合場所：十和田湖畔休屋北駐車場  
(現地集合・解散)

スケジュール：  
09:00 集合  
09:00~09:15 開催の挨拶&自己紹介  
09:15~12:00 イグルー作り体験開始  
12:00~13:00 野外料理ランチ  
13:00~16:00 イグルー作り体験再開  
16:00 イベント終了

2日間 延べ参加人数：17名  
参加者：十和田湖畔住民、県職員、一般参加者 など  
イグルー設営指導：佐々木豊志（青森大学）  
設営サポート：後藤欣司、菊川光太郎、橋坂修基



十和田湖畔休屋 イグルー作り体験集合写真



**事業報告【5】委託業務4.その他（環境省）**  
**①.2023年度休屋集団施設地区冬季利用促進検討業務③**



■ 体験ツアー当日参加者の写真：

例年に比べての雪不足、水分の少ない高まりづらい雪であるなどを事前調査して当日の行程がスムーズに進むように準備した。  
調査の結果、水分が少ない雪（固まりづらい）かつ積雪が40~50cm程度で1つのブロックの高さが最大30cmの深さ（高さ）での積み上げが可能であることを確認。



参加者集合写真



イベント開始前の自己紹介



参加者が指導を受けている様子



雪を踏み固めている様子



イベント当日野外料理



ランチブレイク野外料理

**事業報告【2】委託業務4.その他（環境省）**  
**①.2023年度休屋集団施設地区冬季利用促進検討業務④**



■ スノーパークの造成

造成期間：2024年1月26日～31日

供用期間：2024年2月2日～25日（ただし2月15日、16日、19日は高温のため供用中止）

安全管理の観点から、そりの持ち込みによる利用は行わず、十和田湖冬物語実行委員会（管理者）所有のスノーチューブの貸し出しを行った。



造成されたスノーパーク



メンテナンスの様子



高温のため利用を中止したスノーパーク

高温のため利用を中止したスノーパーク

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（青森県）

### ②.宿泊施設と連携した滞在プログラム開発事業\_休屋イグルー作り体験ツアー



- 依頼先：環境省 「2023年度休屋集団施設地区冬季利用促進検討業務」  
青森県 「2023年度宿泊施設と連携した滞在プログラム開発業務（十和田地域）」

■ 委託期間：契約締結の日から2024年3月15日まで

■ 委託料：2,964,500円

#### ■ 実施内容：

①管内の宿泊施設と連携し、アクティビティ、伝統文化、食など、地域の資源を活用した、宿泊施設が提供する滞在プログラムを1件以上開発すること。

十和田市だけではなく、青森県上北地区を対象にマーケティング調査、フィールド調査などを行った。十和田市焼山エリアの自然資源「雪」を最大限に活かすためのコンテンツ作りに焦点をあて、近年ヨーロッパや北美、それにオーストラリアを中心とした富裕層に人気が高まっている「アドベンチャートラベル」を意識しながらコンテンツ開発に努めた。来年度からの販売の準備が整った。

②開発する滞在プログラムは、1泊以上宿泊し、さらに延泊したくなるような内容とすること。

「イグルー作り体験」の時間帯を9:00～16:00にセッティングし、より多くの参加者が体験に参加する前と参加後に近隣の宿泊施設を利用するよう誘導を試みた。そして、イグルー作り体験は室外で行うため、体験終了後、参加者に隣接の温泉施設などを紹介し、利用へ誘導することとした。所要時間が長く、体力も使う体験プログラムのため、体験終了後に隣接の宿泊施設の利用が増えることが期待できる。

#### ■ 宣材作成

体験を開催した日に次年度以降の旅行商品プロモーションのため、当コンテンツの写真及び動画の撮影を行った。

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（青森県）

### ②.宿泊施設と連携した滞在プログラム開発事業\_星空観察会



#### ■ナイトタイムエコノミーの充実

2022年度観光庁事業「ムーンクルーズ」にて新規開発した「十和田湖から月」というコンセプトを継承し、単発イベントを実施。

日時：2023年9月29日（金）中秋の名月・満月

対象：休屋エリアに滞在中の観光客

協力：星空プロダクト株式会社

内容：ガイドの話を聞きながら月を眺める

#### ■ガイド育成

月または星に関するガイドの基礎やノウハウを地域に定着させるため、市内ガイドを対象とした研修会を開催

日時：2023年9月28日（木）

対象：市内にてガイドとして活躍する事業者または個人

協力：星空プロダクト株式会社

内容：夜空ガイドィングの基礎、天体望遠鏡の使い方、季節毎の星座、星や月にまつわる文化的な背景

参加者：

- ・十和田湖ガイドクラブ
- ・十和田奥入瀬郷づくり大学
- ・星野リゾート奥入瀬溪流ホテル
- ・奥入瀬自然観光資源研究会



## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（青森県） ③「未来の奥入瀬体験ツアー」試行業務①



■ 委託者：青森県県土整備部道路課

■ 委託期間：2023年4月28日から2023年11月30日まで

■ 委託料：2,992,000円

■ 目的（仕様書より一部抜粋）

地元の小学生・中学生を対象にした体験学習ツアーの試行を通じ、奥入瀬・十和田湖地域の自然環境の素晴らしさを知ってもらうとともに、溪流の自然を守るためにの公共事業についての地元理解をより深めてもらう。

■ 業務内容（仕様書より一部抜粋）

1. 未来の奥入瀬体験ツアーの試行

バイパス工事や各団体等が催行しているエコツアーや、バイパス工事への理解と、将来の奥入瀬渓流に対して理解を深めてもらうことを目的に、地元小中学生を対象にした体験学習ツアーを試行する。

(1) 対象

対象学校：十和田市立大深内小学校、十和田市立第一中学校 計2校

対象人数：各校20名程度

(2) 想定するツアー内容

①バイパス工事見学、②奥入瀬渓流の学習、③宇樽部エリアでのアクティビティ、④十和田湖遊覧船、⑤十和田ビジターセンター

(3) 関係機関との事前調整

(4) ツアー催行

(5) 各種手配

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（青森県） ③「未来の奥入瀬体験ツアー」試行業務②



■ ①十和田市立第一中学校（2023年6月29日～30日）

生徒15名、先生3名

雨のためカヌーツアーが中止となり、環境教育プログラムである「Project Wild」を実施。それでも満足度は高かった。



グリスロ乗車ツアー



Project Wildプログラム

■ ②十和田市立大深内小学校（2023年7月13日～14日）

児童17名、先生5名

この日も雨のためカヌーツアーが中止となった。また、既に体験済の地域学習との差別化が必要であった。



溪流ネイチャーツアー



宇樽部キャンプ場宿泊



遊覧船乗船



トンネル見学



ビジターセンター見学



トンネル見学

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（上北地域県民局）

### ④県内及び近隣県の旅行コンテンツ作り業務①



■ 依頼先：青森県上北県民局

■ 委託期間：契約締結の日から2024年2月28日まで

■ 委託料：414,920円

■ 実施内容：

既存施設の活用または既存体験メニュー・サービスの提供方法を変えること等により、県内及び近隣県の旅行者向けの体験メニュー・サービス作りをプラッシュアップ

十和田市だけではなく、青森県上北地区を対象にマーケティング調査、フィールド調査などを行った。十和田市焼山エリアの自然資源を最大限に活かすためのコンテンツ作りに焦点をあて、近年ヨーロッパや北米、それにオーストラリアを中心とした富裕層に人気が高まっている「アドベンチャートラベル」を意識しながらコンテンツ開発に努めた。

十和田市焼山エリアの河川で渓流釣り体験のメニューを開発し、十和田の豊かな漁業資源を「テンカラ」という伝統的な釣り方で楽しめるコンテンツを作成した。地元の渓流釣り人や、渓流釣り体験を提供している方と連携し、焼山エリアの河川で来期も実施する予定である。当コンテンツにより、県内及び近隣県の観光客にリピート訪問をしてもらい、十和田湖周辺の観光資源の価値や魅力を再認識させる取組を行なった。

また、当コンテンツの内容は釣りだけではなく、「テンカラ用毛鉤巻き」も体験していただくため、文化価値も挙げられる。併せて2024年4月から販売開始予定の「テンカラ渓流釣りツアー」のチラシも作成し、来期からの販売の準備が整った。

## 事業報告【2】委託業務\_4.その他（上北地域県民局）

### ④県内及び近隣県の旅行コンテンツ作り業務②



■ 体験会の開催

2023年9月8日に焼山エリアで「テンカラ渓流釣りツアー」体験会を開催し、アンケートで参加者からの感想をいただいた。

体験会詳細

開催日：2023年9月8日（金）7:00～12:30

天気：晴れ 気温：26°C 風速：0.6m/h～3.0m/h(西～西北西) ※十和田のアメダスより

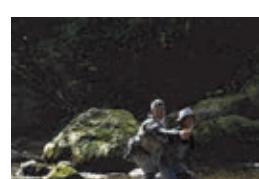
集合場所：奥入瀬渓流館駐車場（現地集合・解散）



キャスティング練習の様子①



キャスティング練習の様子②



川の中でキャスティングの説明

対象：

市町村観光担当職員、市町村観光協会職員 等

スケジュール：

07:00	集合
07:00～07:15	体験説明及び参加者自己紹介
07:15～07:45	テンカラ釣りキャスティング練習
07:45～08:00	ウェーダー着替え
08:00～10:00	おいらせ屋 毛鉤巻き体験
11:00～11:15	遊魚荘への釣り体験
11:15～12:00	釣り堀での釣り体験
12:00～12:30	魚焼き
12:45	解散



毛鉤巻き体験の様子



テンカラ毛鉤巻きの指導



テンカラ毛鉤巻き体験の説明

## 事業報告【2】委託業務4. その他

### ⑤奥入瀬渓流館ガイドカウンター運営委託業務（一財）十和田湖ふるさと活性化公社委託業務



■ 発注者：一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社

■ 契約期間：2023年4月1日から2024年3月31日まで

■ 契約金額：7,580,000円

■ 目的（仕様書より一部抜粋）

十和田市奥入瀬渓流館のネイチャーガイドカウンターの運営に関し、観光客等への奥入瀬渓流の自然や動植物の解説パネル等を用いた説明や観光案内業務を通じて、奥入瀬渓流への知見を深めていただくとともに、利便性向上を図る

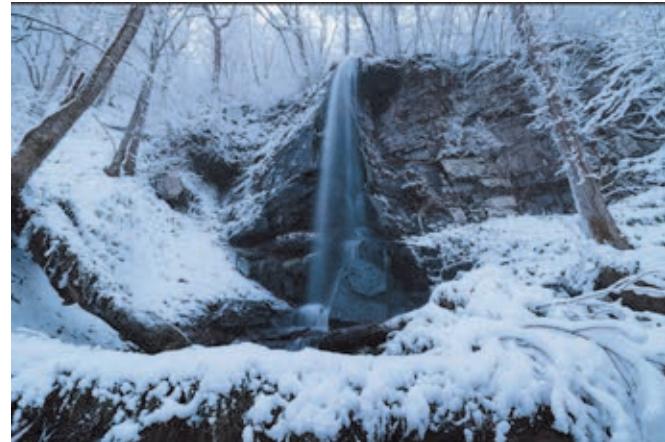
■ 業務内容

2021年4月、奥入瀬渓流館は物産コーナー、新しい展示でリニューアルオープンした。特に、ガイドカウンターについては、エコツーリズムのための施設として、奥入瀬渓流に精通したガイドが常駐することにより、対面、電話ともに、問い合わせ対応を行える体制とした。カウンターの運営については、奥入瀬渓流の自然観光についての高い専門性が求められるため、指定管理者である一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社より、当機構が委託を受けている。



ガイドが常駐することにより、奥入瀬渓流のリアルな情報を観光客に伝えることができた。

## 事業報告\_交付金・補助金事業



第37回十和田湖の四季の写真コンテスト 国土交通大臣賞受賞作品

## 事業報告【3】交付金・補助金事業

### 1. 観光再始動事業 冬の十和田八幡平国立公園インバウンド向け高付加価値ツアー造成事業



冬季観光の促進のため、北東北の厳冬美を体感するツアーを造成。既にあるコンテンツを改良したり、素材同志を繋げられるように旅行商品化したものなど全4コースを設定した。いずれのコースにも通訳案内士が同行し、インバウンド向け高付加価値ツアーとし、消費拡大を図った。

■実施期間：2024年1月10日～2月18日

■コース内容/販売価格

- ①奥入瀬の自然探索ガイド付きスノーシューツアー7,000円（冬季立入困難エリアを特別に除雪し限定開放）
- ②冬の絶景周遊ツアー十和田市街地発着32,800円（ワゴン車で八甲田・奥入瀬・十和田湖を周遊するランチ付きツアー）
- ③冬の絶景周遊ツアー安比高原エリア発着39,800円（ワゴン車で八甲田・奥入瀬・十和田湖を周遊するランチ付きツアー）
- ④冬の奥入瀬 氷瀑プレミアムツアー19,800円（ワゴン車を使用し飲食提供をしながら氷瀑ライトアップを鑑賞）



#### ■実施結果

4コース合計参加者149名 消費額1,279,300円

高単価であり、行程も1日がかりまたは夜であるため参加へのハードルが比較的高く、その分、周到な告知が必要であったが、「滞在先のホテルで知った」など、告知が限定的になってしまった。しかしながら、参加した旅行者の満足度は高かった。今までツアーカ化したことがない様々な体験を提供することができ、冬季観光の新たな可能性を見出すことができたため、次年度以降活かしていく。

## 事業報告【3】交付金・補助金事業

### 2. インバウンドコンテンツ事業 インバウンド向け高付加価値ツアー造成事業



#### 【インバウンド向けコンテンツ造成】

##### ■事業概要

十和田エリアはSAVOR JAPANの認定を受けており、2020年度より計画的な活動を行っており、4年目となる2023年度はコンテンツの販売開始と収益化を目標として、重要文化財「旧笠石家住宅」内にて地元料理人による青森の多様な「食」を提供するコンテンツを造成し、誘客を促した。

##### ■モニターツアー

実施日：2023年10月23日

参加者：6名(関係旅行会社他)

##### ■外国人モニターツアー及びPR動画・写真撮影

実施日：2023年11月1日

参加者：台湾国籍2名、中国国籍2名

##### ■造成ツアーツアー1

###### 重要文化財にて、地元料理人による多様な地産食ランチプラン

複数の飲食事業者により、開催日によりテーマを変えたコースを提供し、多様なニーズを捉える(例：日本食プランと発酵×ビーガン×山菜プラン)

##### ツアーツアー2

###### ツアーツアー1に旬な食材の収穫体験を加えたプラン

地元の方との交流の機会を求めている旅行客へのコンテンツを造成。



## 事業報告【3】交付金・補助金事業 3 外部専門人材活用 河原木徹氏

事業費：6,770,000円



観光庁の「2023年度 訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（観光地域づくり法人の体制強化）」を活用し、インバウンドによる地域全体の経済効果を高めるための投資戦略やビジネスモデルを確立するための外部専門人材を登用。昨年に続き、河原木氏を登用し、宿泊統計調査のDX化、外国人向けアンケート調査の仕組み作りを行った。

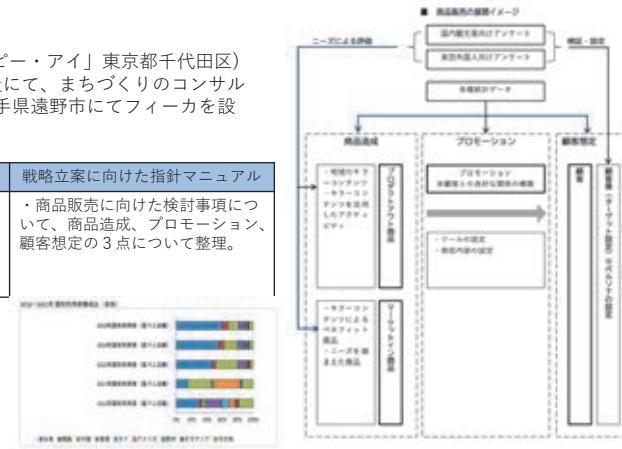
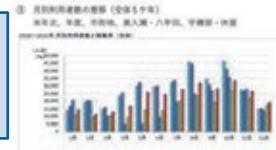


フィーカ代表 河原木徹氏

1990年株式会社地域計画総合研究所(現、「アール・ピー・アイ」東京都千代田区)入社。「地域を元気にしたい」をモットーとした同社にて、まちづくりのコンサルタントとして従事したのち、2020年5月同社退社、岩手県遠野市にてフィーカを設立、現在に至る。

宿泊者数調査のDX化	十和田市来訪外国人アンケート調査	戦略立案に向けた指針マニュアル
<ul style="list-style-type: none"><li>・現行の宿泊者数調査</li><li>・宿泊者数調査のDX化</li><li>・宿泊者数データベースの構築</li><li>・毎月報告書フォーマットの作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・QRコードによるアンケート調査</li><li>実施方法：宿泊施設への留置、観光地、イベント等での勧誘（声かけによる対象者勧誘含む）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・商品販売に向けた検討事項について、商品造成、プロモーション、顧客想定の3点について整理。</li></ul>

▶宿泊者数のデータベース構築により、各施設ごとの宿泊者推移、エリアごとの推移など、ブルダウントで簡単に検索できるようになった。右記のグラフも自動で生成されるようになった。



観光庁 2023年度「観光地域づくり法人の体制強化」事業

## 事業報告\_収益事業



第37回十和田湖四季の写真コンテスト 十和田市長賞受賞作品





## 事業報告【4】収益事業関係

### 1\_①. 奥入瀬愛情たっぷり弁当販売事業



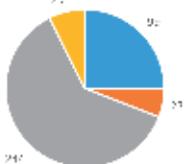
田中愛子氏

- 奥入瀬渓流周辺には飲食店が少なく、ランチ難民が発生しているとの声から、2020年度観光庁補助金を活用した外部専門人材登用でフードスタディを提唱する田中愛子氏のプロデュースにより商品化。
- 当機構HPのオンラインストアにて販売。
- 公共施設や宿泊施設にて受取り可能とし、奥入瀬渓流散策に訪れたお客様に好評を得た。
- 内容は、とわだ短角牛や発酵食品など20品目を詰め合わせた十和田をまるごと味わいつくすことができる逸品。

受取場所別販売個数



発注先別販売個数



売上前年比：113%

2022年度売上額 ￥571,400  
2023年度売上額 ￥645,500

▶2022年度は観光客60%、大手AGT及びアクティビティ事業者35%、その他5%だったのに対し、2023年度は観光客25%、大手AGT及びアクティビティ事業者70%、その他5%だった。エージェントセールスの効果が顕著にあらわれている。

## 事業報告【4】収益事業関係

### 1\_②. E-Bikeレンタル事業



#### ■ 実施内容：

2022度に十和田湖エリアでE-Bike（電動アシスト付きスポーツバイク）と遊覧船を組み合わせた体験メニューを開発し、観光客が単独で十和田湖東湖畔・休屋エリアを満喫するためのコースマップを作成をした。2023度の5月から販売を開始し、奥入瀬渓流エリア、市街地エリアでのレンタルも含めた収益が以下となります。

2023年度 販売実績	
販売期間：	2023年4月～2023年10月
販売単価：	3,000円/4時間
委託先：	(一財)十和田湖ふるさと活性化公社 株式会社パワフルジャパン十和田
年間売上額：	1,284,000円
DMO収益：	387,450円



## 事業報告【4】収益事業関係 1\_③. サンキューバナナ事業



- 当機構が指定管理者として管理する十和田市観光物産センターの厨房施設を活用して、飲料を提供する「サンキューバナナ」を運営し、収益拡大を図った。
- 2023年で4年目となる「サンキューバナナ」十和田店の営業を4月6日に開始し、バナナ・リンゴ、イチゴジュースを販売した。

商品	商品の特徴
	<b>バナナジュース</b> <ul style="list-style-type: none"><li>体に優しいシンプルレシピの濃厚バナナジュース</li><li>砂糖不使用</li></ul>
	<b>リンゴジュース</b> <ul style="list-style-type: none"><li>1日限定20杯</li><li>十和田店オリジナルドリンク</li><li>十和田産りんご使用、無添加</li></ul>
	<b>イチゴジュース</b> <ul style="list-style-type: none"><li>青森県産イチゴのみを使用</li><li>さっぱりした味わいで女性に大人気</li></ul>

販売実績
販売期間：2023年4月6日～8月27日
営業時間：11:00～18:00
販売単価：バナナ390円／リンゴ390円／イチゴ580円
販売数：バナナ3,124杯／リンゴ480杯／イチゴ902杯 合計4,506杯
<b>売上額：1,935,070円</b>

## 事業報告\_その他事業



第37回十和田湖四季の写真コンテスト 審査員賞受賞作品

## 事業報告【5】その他事業

### I. 持続可能な観光推進モデル事業(観光庁調査事業)



#### ▼背景

新たな観光立国推進基本計画（2023年3月閣議決定）においては、KPIの一つとして持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数100地域を掲げている。当機構においても、持続可能な観光への取組の第一歩として、観光庁調査事業を活用し、自地域のアセスメントを行うとともに、奥入瀬渓流における各種取組において持続可能な観光の考え方の取り入れ方を検討した。また、地域事業者及び行政関係者向けに、国際的な持続可能な観光の標準を学ぶGSTC研修を実施した。



事業実施内容



GSTC研修ワークショップ



GSTC研修参加者

## 事業報告【5】その他事業

### I. 持続可能な観光推進モデル事業(観光庁調査事業)



#### ▼実施結果

前述のとおり、協議会による取組が進む奥入瀬渓流においても、持続可能な観光の観点から、今後強化すべき分野が明確化された。2024年度においては、本取組の成果を踏まえた観光庁事業「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」に青森県が中心となり取り組むことに加え、JSTS-Dを活用した地域の観光戦略を見据える必要性が見えてきている。

「マイカー規制実証実験」 観光客のマナー実態、周辺開発再開促進	グリストのメリット・デメリット整理 今後の活用方針の決定	マイカー規制まで実現すべき 地域住民・事業者への対応課題の明確化
<p>■実施するJSTS-D基準 : AII-A14-B5-B7-E3</p> <p>【持続可能な観光】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>地域活性化に向けてマイカー規制・マイカー規制ペナルティ化の実現を目指すため、JSTS-Dによる実証を行なった。</li><li>奥入瀬渓流・十和田湖周辺のマイカー規制ガイドラインの実現度合いや持続可能な観光の実現度合いを評価するため、JSTS-Dを実施。</li><li>「マイカーライツ」にて車両登録JSTLとガイドライン実現度合いを評価。ツアーアゲントの運営者・管理者・運営度合いを評価するため、アゲントによるJSTL登録率とガイドライン実現度合いを評価するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合いを評価する。</li></ul> <p>■ガイドライン実現度によるガイドの各自評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>奥入瀬渓流マイカーライツガイド実現度合をもと評価している。事業者アンケートの結果でも、ガイドペナルティ化の実現度合いは高いと回答している。</li><li>持続可能な観光度合いは、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>持続可能な観光度合いは、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul> <p>■ガイドライン実現度によるガイドの各自評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul> <p>■ガイドライン実現度によるガイドの各自評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>ガイドライン実現度合は、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul>	<p>■実施するJSTS-D基準 : B6-D2-D13</p> <p>【持続可能な観光】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>マイカーライツ実現度合として社会企業化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul> <p>■グリストモビリティ今後の活用方法の決定</p> <ul style="list-style-type: none"><li>有識者（青森県）のGSTC研修時に奥入瀬渓流としての観光度合を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul>	<p>■実施するJSTS-D基準 : A12</p> <p>【持続可能な観光】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>マイカーライツ実現度合として社会企業化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul> <p>■対応実策の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>有識者（青森県）のGSTC研修時に奥入瀬渓流としての観光度合を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul> <p>■実施するJSTS-D基準 : A12</p> <p>【持続可能な観光】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>マイカーライツ実現度合として社会企業化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li><li>マイカーライツとしての地域活性化を実現するため、JSTL登録率とガイドライン実現度合との相関性が高い。</li></ul>

事業実施結果

#### (1) JSTS-Dを活用した自地域のアセスメントと優先課題の再認識\_1/2



JSTS-D（日本版持続可能な観光ガイドライン）によるアセスメントの結果、当地域は環境分野におけるさらなる取組が必要であることが明示された。自然環境だけではなく廃棄物や温暖化対策といった分野の取組が求められている。

## 事業報告【5】その他事業 農林水産省

### 2. SAVOR JAPAN



#### 【SAVOR JAPAN認定地域としての取り組み】

SAVOR JAPANとは、農林水産省が地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取組を「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」として認定する制度

#### ◆SNSでの投稿

- SAVOR JAPAN公式SNSでの投稿

Instagram

@savor.japan/投稿232件/フォロワー1,095人

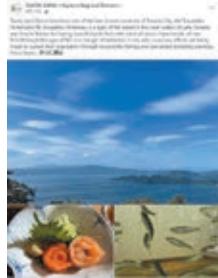
Facebook

【ユーザー名】

SAVOR JAPAN –Explore Regional Flavors– /

フォロワー19万人

- SAVOR JAPANアンバサダー定例会での意見交換や投稿のアドバイスを1回／月程度実施



#### ◆YouTube動画撮影

- 目的と概要

インバウンド消費と輸出の相乗効果をさらに高めていくことを目的とし、地域の食・食文化を中心に、景観、アクティビティ等、地域の魅力を収めたPR動画の制作

- 撮影日：2023年7月29日（土）・7月30日（日）

- コンセプト

SAVOR JAPAN=日本を味わう

外国人に、日本の地方(農山漁村)を訪問でもらい、その地域ならではの農林水産物・食文化について、“本物”を知り、味わってもらう。そこから、農林水産物や、それを生かした食品の“輸出”に結びつけていく。

## 事業報告【5】その他事業

### 3. 鶴ヶ島市保養地指定事業



- 地域の宿泊利用促進のため、埼玉県鶴ヶ島市の保養施設として、十和田市内の宿泊施設を登録し、斡旋を行った。（登録施設：ドライブイン民宿桂月、民宿ひめます山荘、民宿春山荘、ホテル十和田荘、十和田レークサイドホテル、八戸市民保養施設洗心荘）
- 2024年2月16日に契約更新を行い、保養施設としての利用を今後も継続的に斡旋する予定。



ホテル十和田荘



民宿春山荘\*

各施設料金表

一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構 宿泊施設利用料金表

宿泊施設名	利用料金（1泊2食付き・消費税込み・入湯税込み）			単位：円
	大人	こども	幼児	
民宿春山荘	7,150	5,800		
ホテル十和田荘	9,900～16,500	6,500～12,000	原則無料	

出典：各施設HP  
\*十和田湖国立公園協会HPより

## 事業報告【5】その他事業

### 4. 機構会員及びDMO連携による観光地の地域調達率及び生活環境利便性向上方策研究



- 十和田湖畔休屋地区において、指定管理者としての役割を活かし、生活の不便な十和田湖畔地区における事業者の地産地消調達率の向上、地元住民の利便性向上の施策として「ぶらっと」における産直市を「ぶらっと金曜市」として開催した。
- 機構理事（物産部会長）であるパワフルジャパン十和田（道の駅とわだ指定管理者）が毎月1回の12回出店したほか、隣接DMOであるかづの観光物産公社が指定管理する道の駅鹿角「あんとらあ」が冬季を中心に5回出店し、計17回の出店を行った。
- 2024年度も継続し、月1～2回の定期的な開催を予定している。



道の駅とわだの指定管理者であるパワフルジャパン十和田は、株式会社産直とわだと連携して新鮮な野菜を出展。事前注文を受け付けることにより、きめ細やかなニーズに対応している。



鹿角市の道の駅かづの「あんとらあ」の指定管理者、かづの観光物産公社は、愛媛や宮崎の道の駅との連携を行っており、東北では珍しい南の特産品も販売。野菜に加えて好評を博した。

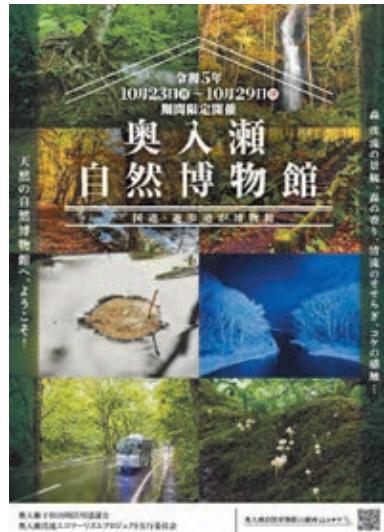
## 事業報告【5】その他事業（奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会/共同事務局担当）

### 5. 奥入瀬溪流自然博物館（エコロードフェスタ）実施 ①



TOMAGA TRAVEL

- 奥入瀬溪流エコロードフェスタが広報の方針を転換し、「奥入瀬自然博物館」の期間限定開催として開催された。2022年は豪雨被害によってマイカー規制が中止となつたが、2023年は4年ぶりにマイカー規制を伴うかたちでの開催であり、初の7日間の規制となった。
- 当機構は理事長が奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会の会長であり、共同事務局の一部として、関係部局と連携して業務を行った。具体的には、ネイチャーガイド養成講座（後述）受講者によるトライアルガイドの実施、持続可能な観光推進モデル事業（後述）と連携したアンケートの実施、休屋エリアでの取組の一部を担当した。
- また、2022年度からの取組であるエコツーリズム推進全体構想策定に関わる取組としては、構想策定後の具体的な見据えを示すガイドミーティングに参加した。



## 事業報告【5】その他事業（奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会/共同事務局担当） 5 ネイチャーガイド養成講座の実施 ②



### ■目的

多くの来訪者に奥入瀬渓流の上質な自然の成り立ち、自然環境や歴史文化の保全の大切さを学べるフィールドミュージアムとしての“歩く奥入瀬”を案内できるネイチャーガイドの育成を目的に、ガイド養成講座を開催した。ガイドデビューを目指す初級コースと、現役ガイド及びガイド養成講座の既修者に向けたスキルアップコースの2コースで開催した。初級コース修了者には、今後ツアーガイドとしての実践の場を提供していくとともに、スキルアップコースでは奥入瀬ガイド全般のレベルの底上げを行った。

### ・初級コース（今年度受講者 18名）

全7回のプログラムを通じ、ゴールデンコース（石ヶ戸休憩所から雲井の滝までの間）でガイディングできることを達成目標に設定。ガイド講習既修者が講師として携わり、ガイド養成の好循環が回りはじめている。



### ・スキルアップコース（今年度受講者 51名）

全5回のプログラムでは、野鳥、地衣類、変形菌、ガイディングといった特定テーマのスキルアップを目的に行なった。また、リスクマネジメントとして、世界基準の救急法MFAを学ぶ特別講習も行い、ガイドの専門性を高めることができた。



## 事業報告【5】その他事業（奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会/共同事務局担当） 5. 市民向け講座「奥入瀬渓流の魅力とこれから」の実施（再掲）③



■青森山トンネル開通後のるべき姿を示した「奥入瀬ビジョン」（2018年6月 奥入瀬渓流利活用検討委員会）にある「天然の自然博物館での学びの地」の具現化のため、これまで毎年市民向け講座を開催してきたが、2023年度は当実行委員会がEST大賞を受賞したことを記念し、EST普及推進委員会の加藤博和委員長を招き、特別講座を行った。市民を中心に約40名が参加した。



### 〈概要〉

会場：十和田市民文化センター 第四研修室  
日時：2024年2月17日（土）14:00～17:00  
○開会挨拶 奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会 会長 小野田金司  
○来賓挨拶 十和田市長 小山田久 様  
1. 話題提供「『知っているとおもしろい！ 奥入瀬渓流とエコツーリズム』（20分）  
NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会事務局長 ネイチャーガイド 川村祐一  
2. 話題提供「奥入瀬渓流利活用の一連の取組について」（15分）  
青森県県土整備部道路課 課長 鈴木英宗  
3. 講演「交通の脱炭素化はなぜ必要か？ どうすればできるのか？」（30分）  
EST普及推進委員会委員長 名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤博和  
4. パネルディスカッション「奥入瀬渓流におけるエコツーリズムとモビリティのあり方について」  
：パネラー上記3者  
共催：エコツーリズムプロジェクト実行委員会、一般社団法人十和田奥入瀬観光機構  
後援：国土交通省青森河川国道事務所、環境省十和田八幡平国立公園管理事務所、青森県、十和田市



事業報告【5】その他事業（十和田湖湖水まつり連携会議・当機構共催/事務局担当）  
7. 第58回十和田湖湖水まつり～バルーンランタンと灯ろう流しと花火で祈る～②



◎ストリートパフォーマンス  
近隣市町村から募集したパフォーマーによる演舞などが十和田湖を背景に披露された。

◎縁日コーナー  
飲食以外の楽しみを造成するため、スーパー・ボールすべいや射的などを実施。（協力：パワフルジャパン十和田）

◎灯ろう流し  
新たな取組として、休屋町内会でお盆に行われてきた灯ろう流しを再現。風のためうまく流れなかつたが、湖面に多くの灯ろうが映り込んだ。

事業報告【5】他の事業(十和田湖冬物語実行委員会主催/事務局担当)  
8. 第26回十和田湖冬物語2024～冬の十和田湖を遊びつくそう～①



第26回 十和田湖冬物語  
～冬の十和田湖を遊びつくそう～

日 程：2024年2月2日（金）～25日（日）  
※ただし15日は荒天により中止

来場者数：102,124人

主 催：十和田湖冬物語実行委員会

後 援：十和田八幡平国立公園管理事務所、青森県、秋田県、  
十和田市、鹿角市、小坂町、青森県観光国際交流機構、  
十和田商工会議所、かづの商工会、ほか両県テレビ、  
新聞等

冬物語についても、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、雪灯り横丁、かまくらバー、バナナボートといったコンテンツが復活した。また、「冬の国境まつり」として、北東北3県の伝統芸能が共演するステージも用意した。



事業報告【5】その他の事業(十和田湖冬物語実行委員会主催/事務局担当)  
8. 第26回十和田湖冬物語2024 ~冬の十和田湖を遊びつくそう~②



◎冬の国境まつり

北東北の中心に位置する十和田湖ならではの「国境まつり」のエッセンスをとりいれたかたちで、伝統芸能を招聘。また、近隣のパフォーマーによるパフォーマンスも併せて実施した。

◎バナナポート

バナナポートは長蛇の列ができるほどの人気コンテンツ。なまはげも乗車!  
(運営: ホテル十和田荘)

◎かまくらバー

氷のグラスで楽しめるカクテルなどが人気。雪不足で小さめなかまくらになったものの、こちらも長蛇の列。  
(運営: とわだこ賑山亭)

議案第2号 令和5年度事業決算(案)承認の件

令和5年度収支決算(案)を次のとおりとし、承認を求める。

令和5年度事業決算書(正味財産増減額)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	実施事業等会計			収益事業会計			法人会計			合計		
	観光振興事業			予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
	予算額	決算額	増減									
I 一般正味財産増減の部												
I. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 受取会費	0	0	0	0	0	0	2,800,000	2,785,000	△ 15,000	2,800,000	2,785,000	△ 15,000
会費	0	0	0	0	0	0	2,800,000	2,785,000	△ 15,000	2,800,000	2,785,000	△ 15,000
② 事業収益	3,670,680	3,725,150	54,470	17,634,419	19,195,359	1,560,940	0	0	0	21,305,099	22,920,509	1,615,410
物産事業収入	0	0	0	560,000	562,522	2,522	0	0	0	560,000	562,522	2,522
イオン帳合	0	0	0	560,000	562,522	2,522	0	0	0	560,000	562,522	2,522
売上	0	0	0	17,074,419	18,632,837	1,558,418	0	0	0	17,074,419	18,632,837	1,558,418
弁当	0	0	0	592,200	650,300	58,100	0	0	0	592,200	650,300	58,100
バナナ	0	0	0	1,935,070	1,930,270	△ 4,800	0	0	0	1,935,070	1,930,270	△ 4,800
旅行商品販売手数料・売上	0	0	0	110,000	1,080,944	970,944	0	0	0	110,000	1,080,944	970,944
氷瀑ツアー	0	0	0	10,000,000	10,381,674	381,674	0	0	0	10,000,000	10,381,674	381,674
十和田湖湖水まつり	0	0	0	4,159,899	4,159,899	0	0	0	0	4,159,899	4,159,899	0
E-Bike	0	0	0	277,250	429,750	152,500	0	0	0	277,250	429,750	152,500
使用料収入	3,670,680	3,725,150	54,470	0	0	0	0	0	0	3,670,680	3,725,150	54,470
施設使用料収入	3,017,040	3,017,040	0	0	0	0	0	0	0	3,017,040	3,017,040	0
厨房施設使用料収入	653,640	708,110	54,470	0	0	0	0	0	0	653,640	708,110	54,470
③ 受取補助金等	186,857,993	185,878,768	△ 979,225	0	0	0	0	0	0	186,857,993	185,878,768	△ 979,225
補助金	75,348,233	73,533,176	△ 1,815,057	0	0	0	0	0	0	75,348,233	73,533,176	△ 1,815,057
運営費等補助金	50,648,000	48,639,881	△ 2,008,119	0	0	0	0	0	0	50,648,000	48,639,881	△ 2,008,119
国・県等補助金	24,700,233	24,893,295	193,062	0	0	0	0	0	0	24,700,233	24,893,295	193,062
外部専門人材派遣事業	6,821,818	6,776,210	△ 45,608	0	0	0	0	0	0	6,821,818	6,776,210	△ 45,608
観光庁:観光再始動事業	12,830,000	12,829,574	△ 426	0	0	0	0	0	0	12,830,000	12,829,574	△ 426
観光庁:インバウンド高付加価値化事業	5,048,415	5,033,886	△ 14,529	0	0	0	0	0	0	5,048,415	5,033,886	△ 14,529
観光庁:インバウンド受入環境整備事業	0	253,625	253,625	0	0	0	0	0	0	0	253,625	253,625
委託料	111,509,760	112,345,592	835,832	0	0	0	0	0	0	111,509,760	112,345,592	835,832
戦略的観光地域づくり推進事業業務委託料	39,000,000	39,000,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000,000	39,000,000	0
特定重点業務実施委託料	24,854,940	24,854,940	0	0	0	0	0	0	0	24,854,940	24,854,940	0
奥入瀬渓流館ガイドカウンター運営委託料	7,746,500	7,580,000	△ 166,500	0	0	0	0	0	0	7,746,500	7,580,000	△ 166,500
十和田市観光物産交流施設指定管理料	16,107,000	16,107,000	0	0	0	0	0	0	0	16,107,000	16,107,000	0
十和田湖観光交流センター指定管理料	17,434,400	17,434,400	0	0	0	0	0	0	0	17,434,400	17,434,400	0
県内・近隣県旅行者向けコンテンツ作り委託料	414,920	414,920	0	0	0	0	0	0	0	414,920	414,920	0
未来の奥入瀬体験ツアー試行業務	2,992,000	2,992,000	0	0	0	0	0	0	0	2,992,000	2,992,000	0
青森県滞在型プログラム開発事業	2,960,000	2,964,500	4,500	0	0	0	0	0	0	2,960,000	2,964,500	4,500
環境省:休屋地区事業	0	997,832	997,832	0	0	0	0	0	0	0	997,832	997,832
④ 雜収益	1,221,327	662,392	△ 558,935	45,581	39,388	△ 6,193	0	0	0	1,266,908	701,780	△ 565,128
雑収入	1,221,327	662,392	△ 558,935	45,581	39,388	△ 6,193	0	0	0	1,266,908	701,780	△ 565,128
経常収益計	191,750,000	190,266,310	△ 1,483,690	17,680,000	19,234,747	1,554,747	2,800,000	2,785,000	△ 15,000	212,230,000	212,286,057	56,057

科 目	実施事業等会計			収益事業会計			法人会計			合計		
	観光振興事業											
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
(2) 経常費用												
① 事業費	191,750,000	189,570,614	△ 2,179,386	17,680,000	16,391,689	△ 1,288,311				209,430,000	205,962,303	△ 3,467,697
役員等報酬	2,400,000	2,400,000	0	0	0	0				2,400,000	2,400,000	0
給料手当	25,400,000	24,123,500	△ 1,276,500	6,450,000	6,362,350	△ 87,650				31,850,000	30,485,850	△ 1,364,150
福利厚生費(退職金積立金含む)	5,760,000	5,789,738	29,738	600,000	394,908	△ 205,092				6,360,000	6,184,646	△ 175,354
旅費交通費	1,500,000	1,862,549	362,549	553,000	54,600	△ 498,400				2,053,000	1,917,149	△ 135,851
費用弁償費	2,000,000	2,514,885	514,885	0	0	0				2,000,000	2,514,885	514,885
通信運搬費	470,000	544,619	74,619	175,000	210,930	35,930				645,000	755,549	110,549
減価償却費	322,000	161,055	△ 160,945	880,000	884,438	4,438				1,202,000	1,045,493	△ 156,507
光熱水費	0	0	0	330,000	297,067	△ 32,933				330,000	297,067	△ 32,933
消耗品費	1,500,000	1,583,141	83,141	26,400	26,400	0				1,526,400	1,609,541	83,141
修繕費	0	0	0	290,400	290,400	0				290,400	290,400	0
広告宣伝費	0	0	0	40,000	0	△ 40,000				40,000	0	△ 40,000
車両費	2,250,000	1,955,641	△ 294,359	217,320	206,040	△ 11,280				2,467,320	2,161,681	△ 305,639
賃借料	2,388,640	2,335,248	△ 53,392	272,350	272,350	0				2,660,990	2,607,598	△ 53,392
報酬	2,430,000	2,454,403	24,403	0	0	0				2,430,000	2,454,403	24,403
租税公課	3,300,000	3,724,618	424,618	200,000	194,982	△ 5,018				3,500,000	3,919,600	419,600
戦略的観光地域づくり推進事業費	39,000,000	35,863,845	△ 3,136,155	0	0	0				39,000,000	35,863,845	△ 3,136,155
① マーケティング業務費	2,880,000	2,365,908	△ 514,092	0	0	0				2,880,000	2,365,908	△ 514,092
② 販路拡大、エージェントセールス等業務費	4,420,000	3,976,954	△ 443,046	0	0	0				4,420,000	3,976,954	△ 443,046
③ 宣伝、情報発信業務費	13,697,000	12,794,315	△ 902,685	0	0	0				13,697,000	12,794,315	△ 902,685
④ 観光開発関係費	8,386,000	7,709,052	△ 676,948	0	0	0				8,386,000	7,709,052	△ 676,948
⑤ 受入体制整備費	4,794,000	4,927,200	133,200	0	0	0				4,794,000	4,927,200	133,200
⑥ インバウンド対策費	4,823,000	4,090,416	△ 732,584	0	0	0				4,823,000	4,090,416	△ 732,584
特定重点業務実施事業費	24,854,940	24,854,940	0	0	0	0				24,854,940	24,854,940	0
物産関係費	54,000	53,730	△ 270	400,000	285,046	△ 114,954				454,000	338,776	△ 115,224
十和田市觀光物産交流施設指定管理費	19,777,680	19,389,980	△ 387,700	0	0	0				19,777,680	19,389,980	△ 387,700
十和田湖觀光交流センター指定管理費	17,434,400	16,092,051	△ 1,342,349	0	0	0				17,434,400	16,092,051	△ 1,342,349
奥入瀬溪流館ガイドカウンター運営費	5,700,000	5,484,840	△ 215,160	0	0	0				5,700,000	5,484,840	△ 215,160
県内・近隣県旅行者向けコンテンツ作り事業	177,000	210,908	33,908	0	0	0						
外部専門人材派遣事業	6,821,900	6,803,670	△ 18,230	0	0	0				6,821,900	6,803,670	△ 18,230
観光庁:観光再始動事業	16,400,000	17,388,667	988,667	0	0	0				16,400,000	17,388,667	988,667
観光庁:インバウンド高付加価値化事業	6,057,000	6,681,827	624,827	0	0	0				6,057,000	6,681,827	624,827
観光庁:インバウンド受入環境整備事業	0	557,975	557,975									
未来の奥入瀬体験ツアー試行業務	1,855,000	1,854,153	△ 847	0	0	0				1,855,000	1,854,153	△ 847
青森県滞在型プログラム開発事業	2,960,000	2,948,804	△ 11,196	0	0	0				2,960,000	2,948,804	△ 11,196
環境省:休屋地区事業	0	973,410	973,410									
支払負担金(関係諸団体会費等)	680,000	664,900	△ 15,100	0	0	0				680,000	664,900	△ 15,100
業務委託料	0	0	0	4,623,285	4,623,285	0				4,623,285	4,623,285	0
バナナ	0	0	0	106,163	106,163	0				106,163	106,163	0
十和田湖湖水まつり	0	0	0	4,517,122	4,517,122	0				4,517,122	4,517,122	0
仕入	0	0	0	1,663,797	1,698,297	34,500				1,663,797	1,698,297	34,500
バナナ	0	0	0	562,295	562,295	0				562,295	562,295	0
弁当	0	0	0	481,600	516,100	34,500				481,600	516,100	34,500
十和田湖湖水まつり	0	0	0	619,902	619,902	0				619,902	619,902	0
雑費	257,440	297,517	40,077	958,448	590,596	△ 367,852				1,215,888	888,113	△ 327,775
② 管理費			0		0	2,800,000	2,722,708	△ 77,292		2,800,000	2,722,708	△ 77,292
通信運搬費			0		0	90,000	89,120	△ 880		90,000	89,120	△ 880
消耗品費			0		0	10,000	0	△ 10,000		10,000	0	△ 10,000
会議費			0		0	1,270,000	1,267,822	△ 2,178		1,270,000	1,267,822	△ 2,178
交際費			0		0	36,000	22,641	△ 13,359		36,000	22,641	△ 13,359
広告宣伝費			0		0	60,500	38,500	△ 22,000		60,500	38,500	△ 22,000
雑費			0		0	130,000	118,293	△ 11,707		130,000	118,293	△ 11,707
旅費交通費			0		0	37,000	20,400	△ 16,600		37,000	20,400	△ 16,600
印刷製本費			0		0	214,500	214,500	0		214,500	214,500	0
賃借料			0		0	952,000	951,432	△ 568		952,000	951,432	△ 568
経常費用計	191,750,000											

## 貸借対照表(案)

令和6年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	実施事業会計	収益事業会計	法人会計	合計
I 資産の部				
I. 流動資産				
現金	64,775	25,733	22,324	112,832
普通預金	17,628,235	2,287,726	1,155,979	21,071,940
青森銀行十和田支店(メイン)	16,070,120	0	0	16,070,120
青森銀行十和田支店(収益)	0	2,216,746	0	2,216,746
青森銀行十和田支店(法人)	0	0	1,155,979	1,155,979
青森銀行十和田支店(AST指定管理)	1,140,248	0	0	1,140,248
青森銀行十和田支店(ぶらっと指定管理)	391,030	0	0	391,030
みちのく十和田支店	2,508	8,253	0	10,761
青い森信用金庫十和田営業部	22,293	56,527	0	78,820
青森県信用組合十和田支店	2,036	6,200	0	8,236
商品・製品	0	0	0	0
未収金	5,263,125	3,947,541	50,000	9,260,666
前払金	0	1,008,000	0	1,008,000
仮払金	0	12,000	0	12,000
流動資産合計	22,956,135	7,281,000	1,228,303	31,465,438
2. 固定資産				
(1) 基本財産	0	0	0	0
(2) 特定資産	0	3,451,104	0	3,451,104
リース資産	0	2,945,324	0	2,945,324
建物付属設備	0	505,780	0	505,780
(3) その他固定資産	161,055	66,000	0	227,055
什器備品	161,055	0	0	161,055
敷金	0	66,000	0	66,000
固定資産合計	161,055	3,517,104	0	3,678,159
資産の部合計	23,117,190	10,798,104	1,228,303	35,143,597
II 負債の部				
I. 流動負債				
未払金	14,831,075	2,254,416	10,000	17,095,491
未払法人税等	0	70,000	0	70,000
預り金	37,320	0	10,000	47,320
流動負債合計	14,868,395	2,324,416	20,000	17,212,811
2. 固定負債				
長期未払金	0	2,525,520	0	2,525,520
負債の部合計	14,868,395	4,849,936	20,000	19,738,331
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	0
2. 一般正味財産	8,248,795	5,948,168	1,208,303	15,405,266
正味財産の部合計	8,248,795	5,948,168	1,208,303	15,405,266
負債及び正味財産合計	23,117,190	10,798,104	1,228,303	35,143,597

## 総合財産目録(案)

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>[資産の部]</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
① 現金	112,832	112,832	
② 預金	21,071,940	21,071,940	
③ 未収金	9,260,666	9,260,666	
④ 前払金	1,008,000	1,008,000	
⑤ 仮払金	12,000	12,000	
<b>流動資産合計</b>			<b>31,465,438</b>
<b>2. 固定資産</b>			
① 什器備品			
取得価格	1,288,440		
償却累計額	1,127,385	161,055	
② リース資産			
取得価格	5,126,360		
償却累計額	2,181,036	2,945,324	
③ 建物附属設備			
取得価格	599,500		
償却累計額	93,720	505,780	
④ 敷金	66,000	66,000	
<b>固定資産合計</b>			<b>3,678,159</b>
<b>資産合計</b>			<b>35,143,597</b>
<b>[負債の部]</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
① 未払金	17,095,491		
未払法人税等	70,000		
② 預り金	47,320		
③ 長期未払金	2,525,520		
<b>流動負債合計</b>			<b>19,738,331</b>
<b>負債合計</b>			<b>19,738,331</b>
<b>差引正味財産</b>			<b>15,405,266</b>

## 令和5年度監査報告書

一般社団法人十和田奥人瀬観光機構  
理事長 小野田金司 殿

私たち監事は、一般社団法人十和田奥人瀬観光機構(以下「機構」という。)の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第一項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たちは、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行の状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当機構の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方針によって、当該年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、当機構の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、当機構の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年5月30日

監事 畠山一男



## 令和6年度交付金活用状況一覧

		申請者	交付金事業名	申請事業タイトル	概要	補助対象事業費 (税抜) (円)	交付金・補助金(税 抜) (円)	
	不採 択	観光 庁	(一社)十和田奥 入瀬觀光機構	地域觀光 新發見事業	台湾富裕層マーケット 向け 北東北広域ツアーアー 商品販売戦略	販売導線構築策として、海外エージェントとのB2Bの販売ルート構築する。 第一ターゲットの台湾マーケットの富裕層への着実な販売できるよう、富裕層顧客をもつ台湾旅行会社と商品造成、販売連携を図る。 販売商品内容は、二次交通課題も考慮した高級ワゴン車での周遊及びガイド同行ツアーを造成。北東北エリアに拡大した広域商品を展開する。これまで十和田で造成した特別体験・高付加価値の体験コンテンツも活用し、冬季閉散期の集客と紅葉シーズンのオーバーツーリズムの課題解決を図る自然の魅力を展開する新しいレスポンシブルツーリズム型ツアーとする。	6,000,000	5,000,000

## 〈基本方針〉

2023年度の十和田市内への宿泊者数は、2019年度比約90%まで回復。内訳は2019年度比で日本人は95%、外国人は79%の結果。コロナ禍での人材流出により各ホテル約1割以上の部屋を稼働できずにいる現状を鑑みると、観光客の需要はコロナ禍前まで回復したといえる。

国においては、昨年6年ぶりに改訂された観光立国推進基本計画において、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光地域づくり戦略」「インバウンド回復戦略」「国内交流拡大戦略」の3つの戦略に取り組むこととなった。

(参考)観光立国推進基本計画(第4次)概要 ~持続可能な形での観光立国の復活に向けて~

国土交通省

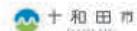
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光はコロナ禍を経ても成長戦略の柱、地域活性化の切り札。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。</li> <li>○ コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を持続可能な形で復活させる。</li> <li>○ 大阪・関西万博も開催される2025年に向け、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。</li> </ul>	<p style="margin: 0;">計画期間：</p> <p style="margin: 0;">令和5～7年度 (2023～2025年度)</p>																					
<p><b>基本的な方針</b></p> <p style="background-color: #6699CC; color: white; padding: 2px 5px; margin-bottom: 5px;">持続可能な観光地域づくり戦略</p> <p style="margin-top: 10px;"><b>インバウンド回復戦略</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を総動員する</li> <li>■ 消費額拡大・地方誘客促進を重視する</li> <li>■ アウトバウンド復活との相乗効果を目指す</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><b>国内交流拡大戦略</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内旅行の実施率向上、滞在長期化を目指す</li> <li>■ 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる新たな交流需要の開拓を図る</li> </ul>																						
<p><b>目標</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">■早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円</th> </tr> <tr> <th colspan="2">■2025年目標（質の向上を強調し、人數に依存しない指標を中心に設定）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">持続可能な観光地域づくり</th> <th>地域づくりの①持続可能な観光地域づくりに 体制整備 取り組む地域数【新】</th> <td>100地域</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②訪日外国人旅行消費額単価【新】</td> <td>20万円/人</td> </tr> <tr> <td>③訪日外国人旅行者一人当たり 地方部宿泊数【新】</td> <td>2泊</td> </tr> <tr> <td>④訪日外国人旅行者数</td> <td>2019年水準超え</td> </tr> <tr> <td>⑤日本人の海外旅行者数</td> <td>2019年水準超え</td> </tr> <tr> <td>⑥国際会議の開催件数割合</td> <td>アジア最大・3割以上</td> </tr> <tr> <td>⑦日本人の地方部延べ宿泊者数</td> <td>3.2億人泊</td> </tr> <tr> <td>⑧国内旅行消費額</td> <td>22兆円</td> </tr> </tbody> </table>		■早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円		■2025年目標（質の向上を強調し、人數に依存しない指標を中心に設定）		持続可能な観光地域づくり	地域づくりの①持続可能な観光地域づくりに 体制整備 取り組む地域数【新】	100地域	②訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人	③訪日外国人旅行者一人当たり 地方部宿泊数【新】	2泊	④訪日外国人旅行者数	2019年水準超え	⑤日本人の海外旅行者数	2019年水準超え	⑥国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上	⑦日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊	⑧国内旅行消費額	22兆円
■早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円																						
■2025年目標（質の向上を強調し、人數に依存しない指標を中心に設定）																						
持続可能な観光地域づくり	地域づくりの①持続可能な観光地域づくりに 体制整備 取り組む地域数【新】	100地域																				
	②訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人																				
③訪日外国人旅行者一人当たり 地方部宿泊数【新】	2泊																					
④訪日外国人旅行者数	2019年水準超え																					
⑤日本人の海外旅行者数	2019年水準超え																					
⑥国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上																					
⑦日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊																					
⑧国内旅行消費額	22兆円																					
<p><b>主な施策</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地・観光産業の再生・高付加価値化</li> <li>■観光DX、観光人材の育成・確保</li> <li>■持続可能な観光地域づくりのための体制整備等</li> </ul> </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■国内需要喚起</li> <li>■ワーケーション、第2のふるさとづくり</li> <li>■国内旅行需要の平準化</li> </ul> </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地・観光産業の再生・高付加価値化</li> <li>■観光DX、観光人材の育成・確保</li> <li>■持続可能な観光地域づくりのための体制整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国内需要喚起</li> <li>■ワーケーション、第2のふるさとづくり</li> <li>■国内旅行需要の平準化</li> </ul>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地・観光産業の再生・高付加価値化</li> <li>■観光DX、観光人材の育成・確保</li> <li>■持続可能な観光地域づくりのための体制整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国内需要喚起</li> <li>■ワーケーション、第2のふるさとづくり</li> <li>■国内旅行需要の平準化</li> </ul>																					
<p><b>目指す2025年の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域の社会・経済に好循環を生む「持続可能な観光地域づくり」が全国各地で進められ、<b>観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大</b>がコロナ前より進んだ形で観光が復活している</li> <li>■万博の開催地である我が国が世界的潮流を捉えた観光地として脚光を浴び、「持続可能な観光」の先進地としても注目されている</li> </ul>																						

また、青森県においても2024年3月青森県観光戦略（2024～2026）が定められ、その方向性として①持続可能な観光の確立 ②観光消費の拡大 ③連泊の推進が、謳われている。

概要														
<b>基本的な方向性</b>														
<b>持続可能な観光の確立</b>	国内外の観光客は、旅の中でもサステナブルな要素を求めるようになりました。また、観光事業者も事業継続のために観光DX推進などによる生産性向上を図り収益を確保するなど、「持続可能性」を意識した取組を行う必要があります。そこで、県全体でサステナブル対応を強力に推進するため、「サステナブル観光青森」をスローガンとして掲げます。													
<b>観光消費額の拡大</b>	持続可能な観光産業を確立するための重要な要素です。観光客に満足していただいた先に、しっかりと消費をしてもらうことを意識します。													
<b>連泊の推進</b>	県内での滞在時間を延ばすことは、消費拡大にもつながります。また、同一施設での連泊を促すことには、生産性向上にもつながるため、地域の事業者が連携し楽しめ方を提供することで、宿泊施設を拠点とした連泊を推進します。													
<b>2028年数値目標と戦略プロジェクト</b>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>目標値</th><th>最新値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光消費額</td><td>2,000億円</td><td>1,495億円 (2022年)</td></tr> <tr> <td>延べ宿泊者数</td><td>550万人泊</td><td>444万人泊 (2023年)</td></tr> <tr> <td>外国人延べ宿泊者数</td><td>50万人泊</td><td>271,010人泊 (2023年)</td></tr> </tbody> </table>			指標	目標値	最新値	観光消費額	2,000億円	1,495億円 (2022年)	延べ宿泊者数	550万人泊	444万人泊 (2023年)	外国人延べ宿泊者数	50万人泊	271,010人泊 (2023年)
指標	目標値	最新値												
観光消費額	2,000億円	1,495億円 (2022年)												
延べ宿泊者数	550万人泊	444万人泊 (2023年)												
外国人延べ宿泊者数	50万人泊	271,010人泊 (2023年)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>参考指標</th><th>最新値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日宿泊率</td><td>10.2% (2023年)</td></tr> <tr> <td>日帰り客消費単価</td><td>6,028円 (2022年)</td></tr> <tr> <td>宿泊客消費単価</td><td>26,153円 (2022年)</td></tr> <tr> <td>連泊率</td><td>14.5% (2023年)</td></tr> </tbody> </table>			参考指標	最新値	平日宿泊率	10.2% (2023年)	日帰り客消費単価	6,028円 (2022年)	宿泊客消費単価	26,153円 (2022年)	連泊率	14.5% (2023年)		
参考指標	最新値													
平日宿泊率	10.2% (2023年)													
日帰り客消費単価	6,028円 (2022年)													
宿泊客消費単価	26,153円 (2022年)													
連泊率	14.5% (2023年)													
<b>Project 1 / 観光の付加価値創出・向上</b> I 付加価値創出による収益確保 II 本県の強みを生かしたコンテンツ整備 III 連泊促進 IV 平日開散期対策														
<b>Project 2 // 多様な来訪者が快適に滞在できる環境づくり</b> I 移動の利便性向上 II 快適に旅行できる安全・安心な観光地づくり III 多様な価値観への対応 IV 受入施設の充実														
<b>Project 3 /// 観光DXの推進と持続可能な観光関連産業の確立</b> I 観光DXの推進 II 的確な旅行ニーズの把握 III 観光地域づくりの担い手育成 IV 観光産業への投資促進														
<b>Project 4 //// 青森ファンを増やす情報発信</b> I オールあおもりでの交流促進 II 青森観光のブランドイメージの向上 III 様々な媒体を活用した情報発信 IV ファンマーケティングの推進														
<b>Project 5 ///// 国内外からの誘客の強化</b> I 徹底したマーケティングの実施 II 交通手段に合わせた滞在プランの提供 III 計画力のあるコンテンツの活用 IV 旅行形態に応じた誘客促進 V 近隣道県からの誘客促進 VI MICE・教育旅行の誘致														

十和田市においては、2024年は、「十和田市観光戦略2022-2024」の最後の年であり、ビジョンとして掲げた「自然とアートを核に稼いで潤う持続的な観光地域づくり」、ミッションである①観光による潤いの平準化 ②サステナブルな観光地域づくり ③上質な観光サービスの実現 に向けた取組を更に強く推し進める1年としたい。

## 2) ビジョンとミッション



### ビジョン

「自然とアートを核に  
稼いで潤う  
持続的な観光地域づくり」

### ミッション

- [1] 観光による潤いの平準化  
自然とアートを核とした観光、  
滞在時間や消費単価の増加、若者の雇用機会創出
- [2] サステナブルな観光地域づくり  
自然環境の保全、関係人口による地域づくり、  
SDGsの浸透
- [3] 上質な観光サービス  
観光人材のスキル向上、高付加価値サービスの提供



具体的に、①観光による潤いの平準化としては、閑散期である冬季のコンテンツ開発及び磨き上げに注力し、氷瀑ツアーのプレミアム化や、イグルーツアーの商品化、十和田湖冬物語の魅力向上に向けた取り組みを行い、② サステナブルな観光地域づくりとしては、奥入瀬渓流エコロードフェスタや、奥入瀬十和田利活用協議会、十和田湖1000年会議などへの参加・発言を通して将来的な環境保全と観光のサステナブルな両立実現に向けて協力していく。③上質な観光サービスの実現としては、ネイチャーガイド養成や市民向け講座の他、「観光立国プラットフォーム」による観光人材育成、街なかの施設の方向け、外国人対応の苦手意識を下げる「インバウンド客向け簡単接客講座(仮称)」などへの取組も計画しています。

その他として、今年度から部会の形を変え、十和田湖畔エリア、奥入瀬渓流焼山エリア、十和田市街なかりアと、3つの大きなエリアで部会を開催する事とし、エリア毎の課題解決に向けた話し合いやワークショップなどを通して、会員の声が当機構の取組に反映するようにし、今まで以上に、会員、地域事業者、地域住民との連携を意識した十和田市における観光振興、地域の活性化及び産業の振興を図るべく取り組みます。

## I. 戦略的観光地域づくり推進事業【市からの受託業務】

事業目的：十和田市における観光の振興、地域の活性化及び産業の振興を図るため、マーケティング調査に基づいた戦略的な観光地域づくりを推進し、観光を軸とした幅広い地域産業が稼いで潤い、シビックプライドが醸成される好循環を促すための観光地経営を行うことを目的とする。

### (1) マーケティング事業

- ・来訪者ヒアリング調査
- ・観光統計・宿泊統計
- ・デジタル情報のアクセス等解析
- ・ビーコン等を活用した来訪者属性等の解析
- ・市民アンケート等による市民の観光意識調査
- ・観光庁登録 DMO 形成・確立計画に係る KPI 調査
- ・十和田市観光戦略 2022-2024 の KPI 調査
- ・次期十和田市観光戦略策定のためのデータ解析等

## (2) 販路拡大事業

- ・国内商談会、旅行博等でのPR
- ・具体的な販売ルート検討・交渉
- ・旅行エージェント・メディアセールス・招聘
- ・教育旅行、MICE誘致
- ・連泊の推進

## (3) 宣伝・情報発信事業

- ・観光パンフレット(外国語含む)の増刷及びデジタル化
- ・ポスター・パンフレット等の作成及び発送管理
- ・多言語によるウェブサイト運営及びSNSでの情報発信による効果的な広告宣伝
  - ・宣材写真・動画の作成及び蓄積
  - ・フォトコンテストの実施等による宣材写真の収集
  - ・記事編集による観光資源・魅力の発信
  - ・プロモーション活動
  - ・フィルムコミッショング対応
  - ・観光写真素材及びPRキャラクターの貸出
  - ・観光情報のメンテナンス(ウェブ、雑誌校正等)
  - ・観光PRグッズ企画・作成

## (4) 観光開発事業

- ・新規旅行商品(継続事業の増進策、体験型コンテンツ含む)の造成・造成支援業務
  - ・他のDMOとの連携等による周遊促進の検討及び方策研究
  - ・モニターツアー実施
  - ・観光客に利便性の高い商品販売方法の検討(オンライン決済、OTA販売、サイトコントローラー等)

## (5) 受入体制整備

- ・受入体制充実のための座談会、部会、セミナー等の開催
- ・観光客の利便性向上の方策研究(手ぶら観光推進等)
- ・他行政主体との連携による観光地形成に係る取組への参加(環境省の跡地活用の取組含む)

- ・人手不足等の観光地の課題に対応するための方策研究
- ・観光人材育成、確保
- ・シビックプライドを醸成する取り組み
- ・観光危機管理に関する取組

#### (6) インバウンド対策事業

- ・青森県等との連携による海外商談会、展示会等でのPR
- ・観光事業者等のインバウンド対応支援業務
- ・海外からの視察、FAMトリップ対応
- ・インバウンド対応セミナーの実施
- ・海外向け情報発信連携(青森県・青森県観光国際交流機構・東北観光推進機構等)

#### (7) 十和田市観光戦略策定

- ・次期十和田市観光戦略策定のためのデータ解析等
- ・同戦略策定に向けた調査およびワークショップ開催

### 2. 特定業務実施事業

#### 冬季観光充実関係業務

冬季の観光振興に貢献し得るナイトタイムコンテンツとして、奥入瀬を舞台に展開する「氷瀑ナイトツアー」の定着を推進する。

### 3. まつり事業管理運営事業

十和田市春まつり、十和田市夏まつり第67回花火大会、十和田市秋まつりを十和田市、十和田商工会議所とともに主催する。また、街なかアートマルシェの開催や、十和田湖畔における十和田湖湖水まつり、十和田湖冬物語について財源やプログラム、運営体制等の見直しに取り組む。

### 4. 物産関係事業

#### ①イオンスーパーセンター十和田店における地場産品出展業務

帳合業務を通じ、地場産品の販売拡充を行う。八戸に向かうルート上にあることや、訪日観光客に人気のあるイオンの立ち寄り場所であり活用を図る。

#### ②地域の食・食文化によるインバウンド誘致：SAVOR JAPAN の取り組み推進

SAVOR JAPAN ブランドとして、日本各地の食や農山漁村の魅力と一体的に発信されることから、地域の食・農業・観光を絡めたストーリー作り、商品づくりに取り組む。

## 5. 観光関連施設指定管理運営業務事業

観光客のニーズに的確に応え、観光案内のワンストップサービスを果たすとともに、常に“おもてなし”的心で対応し、高い満足度を提供し得る施設運営を目指す。

- ① 十和田市観光物産交流施設指定管理業務 多言語対応
- ② 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」指定管理業務 多言語対応
- ③ 奥入瀬渓流館ネイチャーガイドカウンター業務

## 6. 人材育成

観光人材のスキルの向上、観光地域づくりの担い手づくりにつながるシビックプライドの醸成、新しい働き方の導入などに取り組むとともに、マーケティングに基づいた観光産業の発展を推し進めるべく、機構内スタッフの育成を図る。

- ① 地域の観光産業の発展を推し進める人材の育成。
- ② 地域の観光振興策を構想し、実践できる機構内の機構人材の育成

## 7. 収益事業

安定的な運営資金の確保に向けて、財源の開発、収益事業の強化に取り組む。

- ① レンタル E-Bike 事業
- ② 奥入瀬愛情たっぷり弁当の販売
- ③ その他旅行商品販売

議案第4号 令和6年度事業予算(案)承認の件

令和6年度収支予算(案)を次のとおりとし、承認を求める。

令和6年度事業予算書(正味財産増減額)【案】

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	実施事業等会計			収益事業会計			法人会計			合計		
	観光振興事業		増減	前年度決算額	本年度予算額	増減	前年度決算額	本年度予算額	増減	前年度決算額	本年度予算額	増減
	前年度決算額	本年度予算額										
I 一般正味財産増減の部												
I. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
①受取会費	0	0	0	0	0	0	2,785,000	2,800,000	15,000	2,785,000	2,800,000	15,000
会費	0	0	0	0	0	0	2,785,000	2,800,000	15,000	2,785,000	2,800,000	15,000
②事業収益	3,725,150	3,670,680	△ 54,470	19,195,359	18,660,000	△ 535,359	0	0	0	22,920,509	22,330,680	△ 589,829
物産事業収入	0	0	0	562,522	560,000	△ 2,522	0	0	0	562,522	560,000	△ 2,522
売上	0	0	0	18,632,837	18,100,000	△ 532,837	0	0	0	18,632,837	18,100,000	△ 532,837
奥入瀬愛情たっぷり弁当	0	0	0	650,300	600,000	△ 50,300	0	0	0	650,300	600,000	△ 50,300
サンキューバナナ	0	0	0	1,930,270	0	△ 1,930,270	0	0	0	1,930,270	0	△ 1,930,270
旅行商品販売手数料・売上	0	0	0	1,080,944	1,000,000	△ 80,944	0	0	0	1,080,944	1,000,000	△ 80,944
氷瀑ツアー	0	0	0	10,381,674	12,000,000	1,618,326	0	0	0	10,381,674	12,000,000	1,618,326
十和田湖湖水まつり	0	0	0	4,159,899	4,000,000	△ 159,899	0	0	0	4,159,899	4,000,000	△ 159,899
E-bike	0	0	0	429,750	500,000	70,250	0	0	0	429,750	500,000	70,250
使用料収入	3,725,150	3,670,680	△ 54,470	0	0	0	0	0	0	3,725,150	3,670,680	△ 54,470
施設使用料収入	3,017,040	3,017,040	0	0	0	0	0	0	0	3,017,040	3,017,040	0
厨房施設使用料収入	708,110	653,640	△ 54,470	0	0	0	0	0	0	708,110	653,640	△ 54,470
③受取補助金等	185,878,768	158,797,900	△ 27,080,868	0	0	0	0	0	0	185,878,768	158,797,900	△ 27,080,868
補助金	73,533,176	55,171,000	△ 18,362,176	0	0	0	0	0	0	73,533,176	55,171,000	△ 18,362,176
運営費等補助金	48,639,881	55,171,000	6,531,119	0	0	0	0	0	0	48,639,881	55,171,000	6,531,119
国・県等補助金	24,893,295	0	△ 24,893,295	0	0	0	0	0	0	24,893,295	0	△ 24,893,295
助成金	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
物産関係助成金	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
委託料	112,345,592	103,576,900	△ 8,768,692	0	0	0	0	0	0	112,345,592	103,576,900	△ 8,768,692
戦略的観光地域づくり推進事業業務委託料	39,000,000	39,000,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000,000	39,000,000	0
特定重点業務実施委託料	24,854,940	25,300,000	445,060	0	0	0	0	0	0	24,854,940	25,300,000	445,060
十和田市観光物産交流施設指定管理料	16,107,000	15,557,200	△ 549,800	0	0	0	0	0	0	16,107,000	15,557,200	△ 549,800
十和田湖観光交流センター指定管理料	17,434,400	16,149,700	△ 1,284,700	0	0	0	0	0	0	17,434,400	16,149,700	△ 1,284,700
奥入瀬溪流館ガイドカウンター運営業務委託料	7,580,000	7,570,000	△ 10,000	0	0	0	0	0	0	7,580,000	7,570,000	△ 10,000
県内・近隣県旅行者向けコンテンツ作り委託料	414,920	0	△ 414,920	0	0	0	0	0	0	414,920	0	△ 414,920
未来の奥入瀬体験ツアー試行業務	2,992,000	0	△ 2,992,000	0	0	0	0	0	0	2,992,000	0	△ 2,992,000
青森県滞在型プログラム開発事業	2,964,500	0	△ 2,964,500	0	0	0	0	0	0	2,964,500	0	△ 2,964,500
環境省:休屋地区事業	997,832	0	△ 997,832	0	0	0	0	0	0	997,832	0	△ 997,832
④雑収益	662,392	4,831,420	4,169,028	39,388	540,000	500,612	0	0	0	701,780	5,371,420	4,669,640
雑収入	662,392	4,831,420	4,169,028	39,388	540,000	500,612	0	0	0	701,780	5,371,420	4,669,640
経常収益計	190,266,310	167,300,000	△ 22,966,310	19,234,747	19,200,000	△ 34,747	2,785,000	2,800,000	15,000	212,286,057	189,300,000	△ 22,986,057

科 目	実施事業等会計			収益事業会計			法人会計			合計		
	観光振興事業											
	前年度決算額	本年度予算額	増減	前年度決算額	本年度予算額	増減	前年度決算額	本年度予算額	増減	前年度決算額	本年度予算額	増減
(2) 経常費用												
① 事業費	189,570,614	167,300,000	8,371,720	16,391,689	19,200,000	1,731,596				205,962,303	186,500,000	△ 19,462,303
役員等報酬	2,400,000	2,400,000	0	0	0	0				2,400,000	2,400,000	0
給料手当	24,123,500	36,700,000	12,576,500	6,362,350	8,000,000	1,637,650				30,485,850	44,700,000	14,214,150
福利厚生費(退職金積立金含む)	5,789,738	6,680,000	890,262	394,908	560,000	165,092				6,184,646	7,240,000	1,055,354
旅費交通費	1,862,549	1,100,000	△ 762,549	54,600	400,000	345,400				1,917,149	1,500,000	△ 417,149
費用弁償費	2,514,885	2,000,000	△ 514,885	0	0	0				2,514,885	2,000,000	△ 514,885
通信運搬費	544,619	500,000	△ 44,619	210,930	200,000	△ 10,930				755,549	700,000	△ 55,549
光熱水費	0	0	0	297,067	300,000	2,933				297,067	300,000	2,933
減価償却費	161,055	161,055	0	884,438	885,000	562				1,045,493	1,046,055	562
消耗品費	1,583,141	1,500,000	△ 83,141	26,400	26,400	0				1,609,541	1,526,400	△ 83,141
修繕費	0	0	0	290,400	290,400	0				290,400	290,400	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0				0	0	0
車両費	1,955,641	2,000,000	44,359	206,040	194,760	△ 11,280				2,161,681	2,194,760	33,079
賃借料	2,335,248	1,485,000	△ 850,248	272,350	0	△ 272,350				2,607,598	1,485,000	△ 1,122,598
報酬	2,454,403	2,200,000	△ 254,403	0	0	0				2,454,403	2,200,000	△ 254,403
租税公課	3,724,618	3,100,000	△ 624,618	194,982	200,000	5,018				3,919,600	3,300,000	△ 619,600
戦略的観光地域づくり推進事業費	35,863,845	39,000,000	3,136,155	0	0	0				35,863,845	39,000,000	3,136,155
① マーケティング業務費	2,365,908	5,500,000	3,134,092	0	0	0				2,365,908	5,500,000	3,134,092
② 販路拡大、E-ジエントセールス等業務費	3,976,954	3,400,000	△ 576,954	0	0	0				3,976,954	3,400,000	△ 576,954
③ 宣伝、情報発信業務費	12,794,315	10,350,000	△ 2,444,315	0	0	0				12,794,315	10,350,000	△ 2,444,315
④ 観光開発関係費	7,709,052	7,050,000	△ 659,052	0	0	0				7,709,052	7,050,000	△ 659,052
⑤ 受入体制整備費	4,927,200	7,500,000	2,572,800	0	0	0				4,927,200	7,500,000	2,572,800
⑥ インバウンド対策費	4,090,416	5,200,000	1,109,584	0	0	0				4,090,416	5,200,000	1,109,584
特定重点業務実施事業費	24,854,940	25,300,000	445,060	0	0	0				24,854,940	25,300,000	445,060
物産関係費	53,730	52,000	△ 1,730	285,046	300,000	14,954				338,776	352,000	13,224
十和田市觀光物産交流施設指定管理費	19,389,980	19,227,880	△ 162,100	0	0	0				19,389,980	19,227,880	△ 162,100
十和田湖觀光交流センター指定管理費	16,092,051	16,149,700	57,649	0	0	0				16,092,051	16,149,700	57,649
奥入瀬溪流館ガイドセンター運営費	5,484,840	6,800,000	1,315,160	0	0	0				5,484,840	6,800,000	1,315,160
外部専門人材派遣事業	6,803,670	0	△ 6,803,670	0	0	0				6,803,670	0	△ 6,803,670
県内・近隣県旅行者向けコンテンツ作り事業	210,908	0	△ 210,908	0	0	0				210,908	0	△ 210,908
観光庁:観光再始動事業	17,388,667	0	△ 17,388,667	0	0	0				17,388,667	0	△ 17,388,667
観光庁:インバウンド高付加価値化事業	6,681,827	0	△ 6,681,827	0	0	0				6,681,827	0	△ 6,681,827
観光庁:インバウンド受入環境整備事業	557,975	0	△ 557,975	0	0	0				557,975	0	△ 557,975
未来の奥入瀬体験ツアー試行業務	1,854,153	0	△ 1,854,153	0	0	0				1,854,153	0	△ 1,854,153
青森県滞在型プログラム開発事業	2,948,804	0	△ 2,948,804	0	0	0				2,948,804	0	△ 2,948,804
環境省:休屋地区事業	973,410	0	△ 973,410	0	0	0				973,410	0	△ 973,410
支払負担金(関係諸団体会費等)	664,900	700,000	35,100	0	0	0				664,900	700,000	35,100
業務委託料	0	0	0	4,623,285	5,700,000	1,076,715				4,623,285	5,700,000	1,076,715
サンキューバナナ	0	0	0	106,163	0	△ 106,163				106,163	0	△ 106,163
十和田湖湖水まつり	0	0	0	4,517,122	4,700,000	182,878				4,517,122	4,700,000	182,878
氷瀑ツア	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000				0	1,000,000	1,000,000
仕入	0	0	0	1,698,297	1,566,200	△ 132,097				1,698,297	1,566,200	△ 132,097
サンキューバナナ	0	0	0	562,295	0	△ 562,295				562,295	0	△ 562,295
奥入瀬愛情たっぷり弁当	0	0	0	516,100	466,200	△ 49,900				516,100	466,200	△ 49,900
十和田湖湖水まつり	0	0	0	619,902	500,000	△ 119,902				619,902	500,000	△ 119,902
E-Bike	0	0	0	0	600,000	600,000				0	600,000	600,000
雑費	297,517	244,365	△ 53,152	590,596	577,240	△ 13,356				888,113	821,605	△ 66,508
② 管理費							2,722,708	2,800,000	77,292	2,722,708	2,800,000	77,292
通信運搬費							89,120	100,000	10,880	89,120	100,000	10,880
消耗品費							0	10,000	10,000	0	10,000	10,000
会議費							1,267,822	1,314,500	46,678	1,267,822	1,314,500	46,678
交際費							22,641	20,000	△ 2,641	22,641	20,000	△ 2,641
広告宣伝費							38,500	38,500	0	38,500	38,500	0
雑費							118,293	130,000	11,707	118,293	130,000	11,707
旅費交通費							20,400	25,000	4,600	20,400	25,	

**議案第 5 号 令和 7 年度暫定事業計画(案)  
及び暫定事業予算(案)承認の件**

**令和 7 年度暫定事業計画(案)及び暫定事業予算(案)**

令和 7 年度の定時総会により事業計画(案)及び事業予算(案)が承認されるまでの間は、令和 6 年度の事業計画及び事業予算と同規模の内容で運営する。

## 議案第6号 役員選任の件

	分野	企業名	当機構での役職	氏名	前任および備考
1	産業団体	十和田商工会議所	理事(新)	岩間 恵美郎	今泉 淳水
2	産業団体	十和田商工会議所	理事(新)	櫻田 一雅	//
3	おいらせ地区	(財)十和田湖ふるさと活性化公社	理事	佐々木 千佳子	部会の新設
4	十和田湖畔地区	レストランたかさご屋	理事(新)	高瀬 宗明	部会の新設
5	まちづくり	田中建設工業	理事(新)	田中 進	部会の新設
6	運輸	日本航空株式会社 青森支店	理事	小出 健也	
7	旅行	株式会社日本旅行東北 青森支店	理事	羽田 雅尋	
8	運輸	全日本空輸株式会社 ANAあきんど株式会社 仙台支店青森駐在	理事	柳沼 茂敏	
9	運輸	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社営業部観光推進室	理事(新)	富岡 耕太	小坂 一将
10	運輸	株式会社フジドリームエアラインズ青森空港支店	理事(新)	秋山 正之	小幡 一久
11	運輸	ジェイアールバス東北株式会社 青森支店	理事	永島 慎太郎	
12	旅行	株式会社JTB青森支店	理事(新)	米村 祐一	園田 達弘
13	旅行	株式会社近畿日本ツーリスト 青森支店	理事(新)	山口 尚孝	鈴木 淳
14	金融	株式会社みちのく銀行十和田支店	理事	石村 彰浩	
15	金融	青森県信用組合十和田支店	理事(新)	鎌田 秀人	竹林 隆寛
16	金融	株式会社青森銀行十和田支店	理事	石村 明弘	
17	金融	青い森信用金庫十和田営業部	理事(新)	木村 貴文	鳥谷部 真吾
18	交通	東京太陽株式会社青森タクシー	理事(新)	三浦 敏勝	中村交通部会長
19	体験	十和田.L.ステージクリエート	理事(新)	三浦 譲	上村体験部会長
20	宿泊	奥入瀬溪流温泉 灯と楓	理事(新)	清水 慶展	堀向宿泊部会長
21	物産	中こう果実園	理事(新)	村上 美穂子	生出物産部会長
22	飲食	A-WORLD	理事(新)	古里 宣光	竹内飲食部会長
23	産業団体	十和田おいらせ農業協同組合	監事	畠山 一男	任期:令和8年度総会まで

## その他

### ①退会報告について

会員の退会について(令和5年6月28日～令和6年6月27日現在)

	事業所名等	代表者	所在地	業種
1	市川養蜂場	市川 徹	東北町大字大浦字中久根下	物産
2	(有)澤目麵工場	澤目 哲雄	十和田市西一番町	物産
3	洗心荘(八戸市民保養所)	林 良彦	十和田市大字法量字焼山	宿泊、飲食
4	(有)高渕石油店	高渕 秀幸	十和田市大字法量字焼山	その他
5	田子屋商店	宮 雅行	十和田市奥瀬字十和田湖畔休屋	物産
6	Toshi's DINER	和田 道子	八戸市類家	飲食
7	(有)みぞぐち布団店	溝口 奈美子	十和田市稻生町	その他
8	株高橋ホース	館花 満弘	十和田市大字三本木字千歳森	体験
9	十和田発酵食文化協会	矢部 聖子	十和田市大字相坂字相坂	その他
10	株式会社鳥	杉浦 裕志	青森県十和田市大字法量字焼山	物産
11	K.J.Winestyle	久慈 竜太郎	十和田市東三番町	飲食
12	演歌堂ミュージック	渡 純司	十和田市沢田字大道	その他
13	日刊東北印刷所	佐藤 百年	十和田市西十二番町	その他
14	十和田市飲食業協会	寺澤 裕美子	十和田市西二番町	その他

(敬称・役職名等略)



# 定 款

# 一般社団法人十和田奥入瀬観光機構定款

## 第Ⅰ章 総則

### (名称)

第1条 この法人は、一般社団法人十和田奥入瀬観光機構と称する。

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を青森県十和田市に置く。

2 この法人は、理事会の定めるところにより、従たる事務所を置くことができる。

## 第Ⅱ章 目的及び事業

### (目的)

第3条 この法人は、十和田市における観光の振興、地域の活性化及び産業の振興に関する事業を行い、もってこの地域の経済の振興と地域社会の健全かつ持続的な発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 観光地域づくりに関すること
- (2) 観光に関するデータの収集、分析及び活用に関すること
- (3) 観光資源の開発、宣伝及び誘客促進に関すること
- (4) 観光客受入環境の充実強化に関すること
- (5) 旅行業法に基づく旅行業及び旅行サービス手配業に関すること
- (6) イベントの企画、運営及び支援に関すること
- (7) 物産の紹介及び販売促進に関すること
- (8) 観光関連施設の活用及び管理運営に関すること
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 第Ⅲ章 会員

### (法人の構成員)

第5条 この法人は、この法人の事業に賛同する個人又は団体であって、次条の規定によりこの法人の会員となった者をもって構成する。

2 前項の会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「一般社団法人法」という。）上の社員とする。

### (会員の資格の取得)

第6条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、そ

の承認を受けなければならない。

2 入会は、理事会においてその可否を決定し、これを本人に通知するものとする。

(経費の負担)

第7条 この法人の事業活動に要する費用に充てるため、毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。この場合、当該会員に対し、総会の1週間前までに、理由を付して除名する旨を通知し、総会において、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) この定款その他の規則に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

2 前項により除名が決議されたときは、その会員に対し、通知するものとする。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。

(2) 総会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

2 前項の規定により会員がその資格を喪失したときは、この法人に対する会員としての権利及び一般社団法人法上の社員としての地位を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることはできない。

(会費等の不返還)

第11条 退会し又は除名された会員がすでに納入した会費その他の拠出金品は、これを返還しない。

(会員名簿)

第12条 この法人は、一般社団法人法第31条の規定により、会員の氏名または名称及び住所を記載した名簿を作成する。

## 第4章 総会

(構成)

第13条 この法人の総会は、定時総会及び臨時総会の2種類とし、すべての会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人法上の社員総会とする。

(権限)

第14条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の金額
- (2) 会員の除名
- (3) 役員の選任及び解任
- (4) 役員の報酬の額又はその規定
- (5) 各事業年度の事業計画及び収支予算
- (6) 各事業年度の事業報告及び収支決算
- (7) 定款の変更
- (8) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
- (9) 合併、事業の全部又は 事業の重要な一部の譲渡
- (10) 解散
- (11) 理事会において社員総会に付議した事項
- (12) 前各号に定めるもののほか、総会で決議するものとして法令で定められた事項及びこの定款で定める事項

(開催)

第15条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。

2 臨時総会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認めたとき。
- (2) 総会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員から、会議の目的である事項及び召集の理由を記載した書面により、召集の請求があったとき。

(招集)

第16条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。ただし、すべての会員の同意がある場合には、その招集手続を省略することができる。

2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があったときは、その日から6週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の1週間前までに通知しなければならない。ただし、総会に出席しない会員が書面によって議決権を行使することとするときは、2週間前までに通知しなければならない。

(議長)

第17条 総会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長に事故あるとき等は、その総会において、出席した理事の中から議長を選出する。

(議決権)

第18条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

**第19条** 総会の決議は、総会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総会員の半数以上であって、総会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) 合併、事業の全部又は事業の重要な一部の譲渡
- (6) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第24条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(書面による議決権行使)

**第20条** 総会に出席できない会員は、理事会の定めるところにより、議決権行使書面をもって議決権行使することができる。この場合において、その議決権の数は、前条の出席した会員の議決権の数に参入する。

(議決権の代理行使)

**第21条** 会員は、代理権を証明する書面を理事長に提出して、他の会員を代理人として議決権行使することができる。この場合において、第19条の規定の適用については、その会員は総会に出席したものとみなす。

(決議及び報告の省略)

**第22条** 理事又は会員が、総会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について会員の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の総会の決議があつたものとみなす。

2 理事が会員の全員に対し、総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を会員総会に報告することを要しないことについて、会員の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、その事項の総会への報告があつたものとみなす。

(議事録)

**第23条** 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事の中から議長が指名した2名以上の理事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第5章 役員等

(役員の設置)

**第24条** この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上25名以内

(2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、5名以内を副理事長とする。
- 3 前項の理事長及び副理事長をもって一般社団法人法上の代表理事とする。

(顧問)

第25条 この法人に、任意の機関として、若干名の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、次の職務を行う。
  - (1) 理事長の相談に応じること。
  - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 顧問は、無報酬とする。

(役員の選任)

第26条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 この法人の理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数の3分の1を超えて含まれることにならなければならない。
- 4 この法人の監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及びこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があつてはならない。

(理事の職務及び権限)

第27条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、この法人の業務執行の決定に参画する。

- 2 理事長及び副理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 4 理事長及び副理事長は、毎事業年度に4か月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第28条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第29条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
- 3 補欠及び増員として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第24条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第30条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員の報酬等)

第31条 理事及び監事に対して、総会において定める役員の報酬等に関する規程に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

## 第6章 理事会

(構成)

第32条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第33条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長の選定及び解職

(招集)

第34条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、副理事長が理事会を招集する。

(議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長に事故あるとき等は、その理事会において、出席した理事の中から議長を選出する。

(決議)

第36条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長、副理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第7章 部会

### (部会)

第38条 この法人は、理事会の下に、必要に応じて部会を設置することができる。

2 部会の設置は、理事会の決議を経て理事長が行うものとする。

## 第8章 会計

### (事業年度)

第39条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。ただし、設立初年度にあっては、この法人の設立の日から平成31年3月31日までとする。

### (事業計画及び収支予算)

第40条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

### (事業報告及び決算)

第41条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、他の書類については承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

## 第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第42条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第43条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第44条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、類似の事業を目的とする他の法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第10章 公告の方法等

(公告の方法)

第45条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(委任)

第46条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 附 則

1 この定款は、この法人の設立の登記の日から施行する。

2 この法人の設立時社員の氏名又は名称及び住所は、次のとおりである。

1 住所 和歌山県和歌山市西高松1丁目14番3号

氏名 小野田 金司

2 住所 青森県十和田市西二番町4番11号

氏名 十和田商工会議所 会頭 石川 正憲

3 住所 青森県十和田市大字奥瀬字中平61番地1

氏名 十和田湖商工会 会長 佐々木 千佳子

4 住所 青森県十和田市西十三番町4番28号

氏名 十和田おいらせ農業協同組合 代表理事 竹ヶ原 幸光

3 この法人の設立時役員は、次のとおりである。

設立時理事 小野田 金司

設立時理事 内川 秀人

設立時理事 峯尾 泰子

設立時理事 安井 勝一

設立時理事 平田 喜一

設立時理事 中尾 仁

設立時理事	伊藤 仁
設立時理事	小松 智
設立時理事	小松田 敦
設立時理事	石川 正憲
設立時理事	佐々木 千佳子
設立時理事	前田 健栄
設立時理事	久保 博史
設立時理事	山本 貢
設立時代表理事	和歌山県和歌山市西高松1丁目14番3号 小野田 金司
設立時代表理事	青森県十和田市西十三番町39番8号 石川 正憲
設立時代表理事	青森県十和田市大字奥瀬字小沢口425番地6 佐々木 千佳子
設立時代表理事	青森県青森市長島2丁目19番22号 峯尾 泰子
設立時代表理事	青森県青森市旭町1丁目2番37号 伊藤 仁
設立時監事	竹ヶ原 幸光
設立時監事	鈴木 恒義

4 この法人の最初の理事長は小野田金司、副理事長は石川正憲、佐々木千佳子、峯尾泰子、伊藤仁とする。

以上、一般社団法人十和田奥入瀬観光機構設立に際し、設立時社員小野田金司外3名の定款作成代理人である司法書士芋田一志は電磁的記録である本定款を作成し、電子署名をする。

平成31年2月15日

設立時社員 小野田金司

設立時社員 十和田商工会議所  
会頭 石川正憲

設立時社員 十和田湖商工会  
会長 佐々木千佳子

設立時社員 十和田おいらせ農業協同組合  
代表理事 竹ヶ原幸光

以上設立時社員の定款作成代理人  
青森県十和田市西二番町13番10号  
司法書士 芋田一志

## 一般社団法人十和田奥入瀬観光機構会員名簿

令和6年6月5日

No	事業所名	代表者
観光人材育成		
1	小野田 金司	小野田 金司
産業団体		
2	十和田商工会議所	今泉 淳水
3	一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社	佐々木 千佳子
4	十和田おいらせ農業協同組合	畠山 一男
運輸・交通		
5	全日本空輸(株) ANAあきんど株式会社仙台支店青森駐在	柳沼 茂敏
6	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社	小坂 一将
7	日本航空(株)青森支店	小出 健也
8	ジェイアールバス東北(株)青森支店	永島 慎太郎
9	(株)フジドリームエアラインズ青森空港支店	小幡 一久
10	十和田観光電鉄(株)	佐藤 行洋
11	十和田タクシー(株)	田中 宏一
12	東京太陽(株)青森タクシートラベル十和田営業所	中川 昌信
13	(株)新山運送	新山 忠男
旅行・体験		
14	(株)JTB青森支店	米村 祐一
15	近畿日本ツーリスト(株)青森支店	山口 尚孝
16	(株)日本旅行東北青森支店	羽田 雅尋
17	(有)十和田乗馬俱楽部	上村 鮎子
18	青森花火(株)	芳賀 克司
19	エヌ・アンド・エー(株)	南條 史生
20	(株)オキタ工業 奥入瀬モスボール工房	起田 高志
21	グリランド	小川 貢
22	(一財)自然公園財団十和田支部	佐々木 誠
23	(一社)十和田湖国立公園協会	中村 秀行
24	十和田きみがらスリッパ生産組合	宮本 桂子
25	特定非営利活動法人 奥入瀬自然観光資源研究会	河井 大輔
26	特定非営利活動法人十和田奥入瀬郷づくり大学	生出 隆雄

27	特定非営利活動法人十和田.L.ステージクリエート	高屋 昌幸
28	合同会社 十和田湖ガイドハウス櫂	太田 勝男
29	十和田湖自然ガイドクラブ	中川 一樹
30	特定非営利活動法人十和田国際交流協会	白山 春男
31	南部裂織保存会	小林 輝子
32	中村 陵子	中村 陵子
33	新渡戸記念館ボランティアkyosokyodo(共創郷土)	新渡戸 富恵
34	(株)レヴリー	豊島 和行
35	服部 圭	服部 圭
36	手づくり村 鯉艸郷	中野渡 裕生
37	小坂まちづくり(株)	森 浩美
38	合同会社ネイチャーセンス研究所	中野 和香奈
39	十和田農業体験連絡協議会	漆坂 真
金融・インフラ機関		
40	(株)青森銀行十和田支店	石村 明弘
41	青森県信用組合十和田支店	鎌田 秀人
42	青い森信用金庫 十和田営業部	木村 貴文
43	(株)みちのく銀行 十和田中央支店	石村 彰浩
44	稻生川土地改良区	丸井 裕
45	上北建設(株)	田島 一史
46	川村建設工業(株)	川村 勇治
47	紺野建設(株)	奥山 勝茂
48	ササキ石油販売(株)	佐々木 千佳子
49	(株)須田山電業	須田山 徹雄
50	田中建設(株)	田中 大文
51	(株)竹達建設	竹達 大輔
52	(株)田中組	田中 俊次
53	ドローンイノベーションネットワーク	関川 明
54	友住設備工業(株)	橋場 敏
55	(株)中達組	中野渡 勝孝
56	南部建設(株)	竹ヶ原 實
57	東日本電信電話(株)青森支店	磯崎 崇

58	(株)石川設計	石川 隆大
59	(株)福萬組	井上 馨
60	田中建設工業株式会社	田中 進
宿泊部会		
61	野の花焼山荘	堀向 直子
62	(株)三沢奥入瀬観光開発 星野リゾート奥入瀬溪流ホテル	佐藤 正満
63	奥入瀬 森のホテル(MiK 株)	村元 裕
64	奥入瀬溪流温泉灯と楓	清水 廉展
65	(株)城ヶ倉観光 蔦温泉旅館	宮本 健四郎
66	春山荘	金村 春治
67	(有)万福	宮 信
68	十和田ホテル(株)	猿田 強
69	十和田プリンスホテル	陶 光昭
70	十和田湖ホステル	田中 光治
71	(有)十和田湖山荘	米田 セツ子
72	(有)十和田荘	中村 秀行
73	(有)十和田湖レークサイドホテル	中村 十二
74	十和田湖バックパッカーズ	川村 桂悦
75	(有)下山旅館 (十和田シティホテル)	下山 勝
76	民宿ひめます山荘	赤石 時子
77	株式会社 R&D	櫻庭 匠
78	奥入瀬屋	金子周平
物産部会		
79	(株)パワフルジャパン十和田	前田 和彦
80	青森第一食糧(有)	畠山 啓恵
81	飴のたかみや	高宮 登志三
82	青森県土産販売(株)	古山 善弘
83	(有)岩木屋	館山 繁樹
84	(株)相坂屋	江渡 信貴
85	(株)大竹菓子舗	大竹 正貴
86	相坂農産加工農業協同組合	苦米地 静枝
87	カマラードの家	川岸 健
88	上北農産加工(株)	小山田 春夫
89	就労継続支援B型事業所 かけはし	天間 龍博

90	COLOR合同会社	成田 二郎
91	京甘堂	下川原 春男
92	(有)小関麵興商事	小関 力
93	(有)サークルマートクズマキ	葛巻 由香
94	(有)信州屋	鈴木 章悦
95	(有)進藤水産	進藤 光子
96	すばげ亭(モリモト)	森本 克巳
97	高砂食品(株)	草刈 保昌
98	伝法川魚店	伝法 良輔
99	天狗とうふ店	田中 富美男
100	点心工房	大関 優花
101	(有)ナカダフーズ	中田 敏哉
102	(株)中善(中善農園)	中村 善一郎
103	なんぶ農援(株)	岩間 正雄
104	(有)沼田茂商店	沼田 淳
105	鳩正宗(株)	稻本 修明
106	野月農園	野月 博征
107	八戸中央青果(株) 五戸支店	足澤 信行
108	中こう果樹園	村上美穂子
109	(株)フナバヤシ	布施 久
110	(有)ふなばやし農産	布施 久
111	(有)丸井精米工場	丸井 扶美雄
112	(株)まちづくり十和田	岩間 恵美郎
113	みちのくコカ・コーラボトリング(株)	松田 勝雄
114	(有)三沢菓子店	三澤 充
115	(有)みのる養豚	中野渡 稔
116	山崎製パン(株)十和田工場	石田 浩治
117	焼菓子工房MaNa	長谷川 博
118	(株)ゆづりは	田中 陽子
119	(株)WAND	岡山 拓也
120	株式会社シーアールティ・ワールド	陸田秀之
121	TSUNDOKU BOOKS	長嶺李砂

飲食部会		
I22	漆畠畜産 牛楽館	漆畠 善次郎
I23	企業組合ラビアンローズ	畠中 宏之
I24	(有) 小笠原子ノロ湖畔食堂	小笠原 泰子
I25	オルトラーナ	佐々木 志保子
I26	有限会社 奥入瀬フーズ	小笠原 臣代
I27	食堂上高地	中田 千代
I28	ガーデンキッチン垂穂	小野 美保
I29	(有)かえで商店	沢巳 登
I30	Yショッピング小栄	小笠原 全
I31	食楽キッチン	橘 節子
I32	(一財)済誠会 サン・ロイヤルとわだ	江渡 篤子
I33	すし侍 まさ木	櫻田 正樹
I34	瀬川 慶子 (Candy.Cafe)	瀬川 慶子
I35	外山商店	外山 京子
I36	大昌園	金 義廣
I37	十和田青空商店組合(志田様)	志田 博俊
I38	十和田市南商店街振興組合	今泉 礼三
I39	(有)鹿渡商店(十和田食堂)	鹿渡 一明
I40	(特非)十和田NPO子どもセンター・ハピたの	中沢 洋子
I41	(一社)日々木の森	立崎 文江
I42	福義煎餅店	福田 安盛
I43	フードサービス味彩	水尻 和幸
I44	ホットチョット	川村 卓光
I45	(株)テイクR	中谷 武
I46	みずうみ亭	勝田 和彦
I47	(有)もりた観光物産	森田 一成
I48	もも太郎	荒岡 賢次郎
I49	(株)レストランたかさご屋	高瀬 宗明
I50	清宮 楓華	清宮 楓華
I51	株式会社A-WORLD	古里 宣光
I52	コメ吉	萩原 隆将

その他		
I53	(有)アート印刷	太田 薫
I54	青森リース(株)	久保 洋人
I55	青森みちのく警備保障(株)	蛇沢 達彦
I56	青森電気工業(株)	畠中 健一
I57	青森放送(株)十和田支局	中村 健治
I58	(株)アート・サイン	五日市 剛
I59	(株)アール・エー・ビーサービス八戸支店	楠美 実
I60	青森県石油商業組合上十支部十和田ブロック	田中 幹志
I61	(有)相坂電気	木村 長敏
I62	(株)岩間印刷	岩間 恵美郎
I63	有限会社 石川映像記録社	石川 雄英
I64	大久保印刷(有)	杉山 克也
I65	(有)大巻時計本店	大巻 義裕
I66	(株)写真のオクヤマ	奥山 洋一
I67	(株)金竹成家	成家 昌弘
I68	川口印刷工業(株) 八戸営業所	久保 正路
I69	(株)クイーン・アンド・カンパニー	アレックス・クイーン
I70	株式会社コンフォーティア	工藤 竜也
I71	県南新聞	佐々木 基之
I72	佐々木アパート	佐々木 一郎
I73	(有)田島生花店	脊戸 静子
I74	(株)テクノス	佐々木 伸夫
I75	(株)十和田ビルサービス	今泉 淳水
I76	(株)トーショー十和田支店	葛西 輝明
I77	十和田石油(株)	田中 進
I78	職業訓練法人 十和田職業訓練協会	中澤 繁雄
I79	(有)西館ガラス店	西館 進
I80	(有)根岸自動車商会	根岸 淳一
I81	村館政人(ハニーサウンド企画)	村館 政人
I82	(有)プロスクリーン	国分 聰

183	Fleuri(フルーリ)	藤森 加奈江
184	益川商事(株)	益川 肇
185	焼山給油所	小笠原 良太
186	米内山 和正	米内山 和正
187	和田 光弘	和田 光弘
188	社会福祉法人 共生の杜	三浦 親堂
189	有限会社エボック	上林 朋行
190	株式会社東溶重機工業	今 春淑
191	株式会社 東北アレンジヤーズ	佐藤 大介
192	株式会社 Ginger	磯石 裕子
193	株式会社ビーコーズ	村岡将利

